# Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル



## メモ、注意、警告

**メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

**注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

**警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。**




**モデル PP06XA**

**2008 年 4 月　　P/N XU480　　Rev. A04**

目次に戻る

# お使いのコンピュータについて

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## 正面図

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | カメラ | 2 | ディスプレイ |
| 3 | 電源ボタン | 4 | GamePanel |
| 5 | デバイスステータスライト | 6 | 右スピーカー |
| 7 | 赤外線センサー | 8 | メディアコントロールボタン |
| 9 | タッチパッド | 10 | 左スピーカー |
| 11 | Dell™ MediaDirect™ ボタン | 12 | キーボードステータスライト |
| 13 | デジタルアレイマイク(2) | 14 | ディスプレイラッチ |
| 15 | カメラインジケータ | | |

**カメラ —** ビデオキャプチャ、会議、およびチャット用のビルトインカメラ

**ディスプレイ —** ディスプレイの詳細に関しては、ディスプレイの使い方を参照してください。

**電源ボタン —** コンピュータに電源を入れるか、もしくは省電力モードを終了するときに電源ボタンを押します(省電力モードを参照)。

**注意:** データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます(数秒かかることがあります)。

**GamePanel —** テキスト情報およびグラフィック情報を表示する小型のセカンダリ LCD です。

**デバイスステータスライト**

| | |
|---|---|
| ⏻ | コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードに入っている際は点滅します。 |
| | コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。<br><br>**注意:** データの損失を防ぐため、 ライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。 |
| | バッテリが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。 |
| | ワイヤレスデバイスが有効になると点灯します。 |
| | Bluetooth® ワイヤレステクノロジが有効になっている場合に点灯します。Bluetooth ワイヤレステクノロジを有効または無効にするには、ワイヤレススイッチの「オン」および「オフ」を切り替えます（詳細については、ワイヤレススイッチを参照）。 |

コンピュータがコンセントに接続されている場合は、 ライトが次のように作動します。

- 青色の点灯 — バッテリの充電中。
- 青色の点滅 — バッテリの充電完了。
- 消灯 — バッテリが十分に充電されています（または、バッテリの充電に外部電源を使用できません）。

コンピュータをバッテリで作動している場合、 ライトは次のように動作します。

- 消灯 — バッテリが十分に充電されています（または、コンピュータの電源が切れています）。
- 橙色の点滅 — バッテリの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリの充電残量が非常に低下しています。

**タッチパッド —** マウスの機能と同じように使うことができます（タッチパッドを参照）。

**赤外線センサー —** リモコンを操作する消費者赤外線センサーです。

**メディアコントロールボタン —** CD、DVD、およびメディアプレイヤーの再生をコントロールします。

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 消音にします。 | ⏮ | 直前のトラックを再生します。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 🔉 | 音量を下げます。 | ⏭ | 直後のトラックを再生します。 |
| 🔊 | 音量を上げます。 | ■ | 停止。 |
| ▶/II | 一時停止および再生をします。 | | |

**スピーカー —** 内蔵スピーカーの音量を調整するには、ボリュームコントロールボタンまたはミュートボタンを押します。

**Dell™ MediaDirect™ ボタン —** Dell MediaDirect を起動するには、Dell MediaDirect ボタンを押します（Dell MediaDirect™ の使い方を参照）。

| | |
|---|---|
| 1 | Dell MediaDirect ボタン |

**キーボードステータスライト**

キーボードの上にある青色のライトは以下のように動作します。

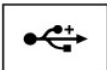
| | |
|---|---|
| 🔒9 | テンキーパッドが有効になると点灯します。 |
| 🔒A | 英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。 |
| 🔒↓ | Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。 |

**デジタルマイク —** 会議およびチャット用デジタル指向性マイク。

**ディスプレイラッチ —** ディスプレイを閉じておくために使用します。

**カメラインジケータ —** カメラが有効な場合は青色に点灯し、有効でない場合は消灯します。

---

## 左側面図

| 1 | DVI-I コネクタ（デュアルリンク） | 2 | S ビデオコネクタ |
|---|---|---|---|
| 3 | USB コネクタ | 4 | IEEE 1394 コネクタ |
| 5 | 8-in-1 メモリカードリーダー | 6 | 光学ドライブ |
| 7 | マイクコネクタ | 8 | ヘッドフォンコネクタ（2） |

**DVI-I コネクタ —** DVI または VGA ディスクプレイの接続（ドングルを使用）に使用します。

**S ビデオコネクタ —** コンピュータを TV に接続します。TV/デジタルオーディオアダプタケーブルを使って、デジタルオーディオ対応デバイスにも接続できます。

**USB コネクタ**

マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

**IEEE 1394 コネクタ —** デジタルビデオカメラのような、IEEE 1394 高速転送率をサポートするデバイスを接続します。

**8-in-1 メモリカードリーダー —** メモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。8-in-1 メディアメモリカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

- SD
- SDIO
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリスティック
- メモリスティック PRO
- xD ピクチャカード
- 高速 SD
- 高密度 SD

**光学ドライブ —** 光学ドライブの詳細については、マルチメディアの使い方を参照してください。

**マイクコネクタ —** マイクをこのコネクタに接続します。

**ヘッドフォンコネクタ —** ヘッドフォン接続用のデュアルヘッドフォンコネクタです。

| のコネクタにはマイクを接続します。 |
|---|
| のコネクタにはヘッドフォンを接続します。 |

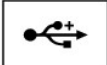
---

## 右側面図

| 1 | ExpressCard スロット | 2 | ワイヤレススイッチ |
|---|---|---|---|
| 3 | Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ | 4 | USB コネクタ（2） |
| 5 | セキュリティケーブルスロット | | |

**ExpressCard スロット —** ExpressCard 1 枚をサポートします。コンピュータには、スロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。詳細は、ExpressCardを参照してください。

**ワイヤレススイッチ —** このスイッチを使用して、ワイヤレス LAN カード、Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードなど、あらゆるワイヤレスデバイスを簡単にオンまたはオフにすることができます。

| 1 | オフ | 2 | オン |
|---|---|---|---|

**DELL Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ —** このボタンを押して、周辺のワイヤレスネットワークのみを取り込みます。

Wi-Fi Catcher ネットワークロケータには LED が装備されており、以下のように作動します。

- 青色の点滅 — ネットワークの検索中です。
- 青色の点灯 — 強いネットワークが見つかりました。
- 黄色の点灯 — 弱いネットワークが見つかりました。
- 消灯 — 信号は見つかりませんでした。

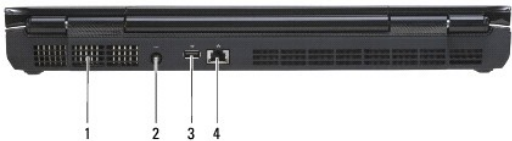
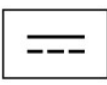
**メモ:** Dell Wi-Fi Catcher ネットワークロケータライトは、コンピュータがオフの状態で、ワイヤレスネットワークがセットアップユーティリティで有効にされた場合のみ点灯します。

**USB コネクタ**

| | |
|---|---|
|  | マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。 |

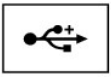
**セキュリティケーブルスロット —** このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます（セキュリティケーブルロックを参照）。

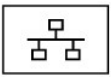
---

# 背面図

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 通気孔 | 2 | AC アダプタコネクタ |
| 3 | USB コネクタ | 4 | ネットワークコネクタ（RJ-45） |

**通気孔 —** コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防ぎます。

**警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。**

**AC アダプタコネクタ**

| | |
|---|---|
|  | AC アダプタをコンピュータに接続します。 |

AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

**警告: AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。**

**注意:** ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルをまとめる場合、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの角度に従ってください。

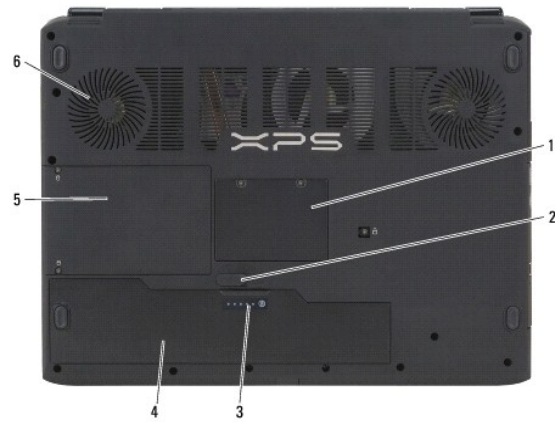
**USB コネクタ**

| | |
|---|---|
| | マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。 |

**ネットワークコネクタ（RJ-45）**

**注意:** コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

| | |
|---|---|
|  | コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある 2 個のライトは、ワイヤネットワーク接続のステータスと活動状況を示します。<br><br>ネットワークアダプタの使用に関する情報については、コンピュータに付属のデバイスユーザーズガイドを参照してください。 |

## 底面図

| 1 | メモリモジュールカバー | 2 | バッテリベイリリースラッチ |
|---|---|---|---|
| 3 | バッテリ充電ゲージ / 機能ゲージ | 4 | バッテリ |
| 5 | ハードディスクドライブ | 6 | 通気孔 |

**メモリモジュールカバー —** メモリモジュールコネクタの実装部のカバーです。

**バッテリベイリリースラッチ —** バッテリを取り外します。

**バッテリ充電ゲージ / 機能ゲージ —** バッテリ充電量の情報を示します（バッテリの充電チェックを参照）。

**バッテリ —** バッテリを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。

**ハードディスクドライブ —** ソフトウェアおよびデータを保存します。

**通気孔 —** コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防ぎます。

**警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったりコンピュータに損傷を与える恐れがあります。**

---

目次に戻る

目次に戻る

# 付録

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



## 概要

 **メモ:** セットアップユーティリティにおける使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。（**Fn Key Emulation** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。）オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（Microsoft Windows XP および Windows Vista ヘルプとサポートセンターを参照）をご覧ください。

以下のような場合に、セットアップユーティリティを使用します。

- ユーザーが選択可能な機能、たとえばコンピュータのパスワードを設定または変更する場合
- システムのメモリ容量などコンピュータの現在の設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動（スタートアップ）設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティの設定

 **注意:** 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアッププユーティリティプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

## セットアップユーティリティ画面の表示

プロジェクトチームにお使いのシステムのセットアップユーティリティの起動手順（手順 1 および 2）を確認してください。

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

2. DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。ここで入力が遅れて、Microsoft® Windows® ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

## セットアップユーティリティ画面

 **メモ:** セットアップユーティリティ画面上の特定のオプションの情報を参照するには、そのオプションをハイライト表示して、画面の **Help** 領域を参照してください。

各画面で、セットアップユーティリティのオプションは左側に表示されます。各オプションの右側には、オプションの設定またはオプションの数値が表示されています。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションは、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示されています。画面の右下角には、コンピュータのシステム情報が表示されています。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

## 通常使用するオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

### 起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

**メモ:** 一回のみ起動順序を変更するには、一回のみの起動の実行を参照してください。

**Boot Order** ページには、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの一般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Modular bay HDD**
- **Internal HDD**
- **Optical Drive**

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示し）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは白色に表示され、その隣に数字が表示されます。無効なアイテムは青色または暗く表示され、数字は付いていません。
- デバイス一覧を再び指示するには、デバイスをハイライト表示して、<U> または <D>（大文字と小文字を区別しない）を押して、ハイライト表示されたデバイスを上または下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

## 一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードディスクドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータをコンセントに接続します。
3. コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

   ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

4. 起動デバイス一覧が表示された場合、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter>を押します。

   コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときに、以前の起動順序に戻ります。

---

# FCC の通達（米国のみ）

## FCC クラス B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオやテレビに受信障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規管パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件に従って使用してください。

1. 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。
2. 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。

**注意:** FCC 規管では、デルによって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されています。

この規制は、個人の家に取り付けた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してシステムを再配置してください。
- 受信機からシステムを遠ざけてください。
- システムを別のコンセントにつないで、システムと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

詳細については、デルの担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

次の情報は、FCC 規管に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです。

| 製品名: | Dell™ XPS™ M1730 |
| --- | --- |
| モデル番号: | PP06XA |
| 会社名: | Dell Inc.<br>Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs<br>One Dell Way<br>Round Rock, TX 78682 USA<br>512-338-4400 |

 **メモ:** 認可機関の詳細情報に関しては、お使いの『製品情報ガイド』を参照してください。

## Macrovision 製品通知

この製品には、米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

目次に戻る

目次に戻る

# バッテリの使い方

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## バッテリの性能

**メモ:** デルの保証情報に関しては、『「こまった」ときの DELL パソコン Q&A』を参照してください。

コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータは、常にメインバッテリを搭載した状態でお使いください。バッテリベイにはバッテリが 1 つ、標準で搭載されています。

**メモ:** バッテリはフル充電されていない場合がありますので、コンピュータを初めて使用するときは、AC アダプタを使って新しいコンピュータをコンセントに接続してください。充分な駆動時間を得るには、バッテリがフル充電されるまで、AC アダプタを使ってコンピュータを動作させます。バッテリ充電量のステータスを表示するには、電源オプションのプロパティの電源メーターをチェックします（電源オプションプロパティへのアクセスを参照）。

バッテリの動作時間は、使用状況によって異なります。

**メモ:** バッテリ駆動時間（バッテリが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリを購入する必要がある場合もあります。

**メモ:** CD または DVD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

次のような場合、バッテリの持続時間は著しく短くなりますが、他の方法でも短くなる場合もあります。

- 光学ドライブを使用している場合。
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアメモリカード、または USB デバイスを使用している場合。
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合。
- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合。Windows 電源オプションのプロパティまたは Dell QuickSet にアクセスする方法に関しては、電源管理の設定を参照してください。これらの機能を使用して電源管理を設定できます。

バッテリをコンピュータに挿入する前に、バッテリ充電量を確認できます。バッテリの充電量が少なくなると警告を発するように、電源管理のオプションを設定することもできます。

**警告: 適切でないバッテリを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリを使用しないでください。**

**警告: バッテリを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（個人のお客様：044-556-4298、企業のお客様：044-556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリの廃棄」を参照してください。**

**警告: バッテリの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 ℃ を超える場所に置いたりしないでください。バッテリはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリ、または漏れているバッテリの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。**

---

## バッテリの充電チェック

Dell QuickSet バッテリメーター、Microsoft Windows **バッテリメーター** ウィンドウと アイコン、バッテリ充電ゲージと機能ゲージ、およびバッテリの低下を知らせる警告は、バッテリの情報を提供します。

### Dell™ QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合は、<Fn><F3> を同時に押して QuickSet バッテリメーターを表示します。バッテリメーターには、お使いのコンピュータのバッテリのステータス、バッテリ性能、充電レベル、および充電完了時間が表示されます。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある QuickSet アイコンを右クリックして、**Help**（ヘルプ）をクリックしてください。

### Microsoft® Windows® バッテリメーター

バッテリメーターは、バッテリの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの アイコンをダブルクリックします。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

### 充電ゲージ

バッテリの充電ゲージにあるステータスボタンを一度押すかまたは押し続けると、次のことが確認できます。

- バッテリの充電量（ステータスボタンを短く押して確認します）
- バッテリ性能（ステータスボタンを押し続けて確認します）

バッテリの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリの充電機能またはバッテリ性能は次第に低下します。つまり、バッテリに「充電済み」のステータスが表示されても、充電容量（性能）は低下したままの場合があります。

#### バッテリの充電チェック

バッテリの充電量をチェックするには、充電ゲージにあるステータスボタンを短く押すと、充電レベルライトが点灯します。各々のライトはバッテリの総充電量の約 20 %を表します。たとえば、バッテリの充電残量が 80 %なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリの充電残量が残っていないことになります。

#### バッテリ性能のチェック

**メモ:** バッテリ性能は 下記に示すように、バッテリの充電ゲージを使用するか、Dell QuickSet のバッテリメーターを使用してチェックすることができます。QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにあるアイコンを右クリックして **Help**（ヘルプ）をクリックします。

充電ゲージを使用してバッテリ性能をチェックするには、バッテリ充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押し続けます。どのライトも点灯しない場合、バッテリの機能は良好で、初期の充電容量の 80 %以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリの充電容量は 60 % 以下になっていますので、バッテリを交換することをお勧めします。

### バッテリの低下を知らせる警告

**注意:** データの損失またはデータの破損を防ぐため、バッテリの低下を知らせる警告音が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。その後、コンピュータをコンセントに接続します。バッテリの充電が完全に切れた場合、休止状態が自動的に開始されます。

ポップアップウィンドウの警告は、バッテリの充電残量の約 90 %を消費した時点で発せられます。 バッテリの充電残量が非常に少なくなると、コンピュータは自動的に休止状態モードに入ります。

バッテリアラームの設定は、QuickSet または **電源オプションのプロパティ** ウィンドウで変更できます。QuickSet または**電源オプションのプロパティ** ウィンドウへのアクセス方法に関しては、電源管理の設定を参照してください。

---

## バッテリ電源の節約

バッテリ電源を節約するには次の手順を実行してください。

- バッテリの寿命は、使用および充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにしてください。省電力モードを参照してください。
- 電力の管理ウィザードまたは **電源オプションのプロパティ** ウィンドウを使用して、お使いのコンピュータの電力使用状況を最適にするオプションを選択します。電源ボタンを押してディスプレイを閉じるか、または <Fn><Esc> を押すと、これらのオプションの設定を変更することができます。

**メモ:** バッテリ電力を節約する方法に関しては、電源管理の設定を参照してください。

---

## 省電力モード

### スタンバイおよびスリープモード

スタンバイモード（Microsoft Windows Vista™ ではスリープモード）は、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおくと（タイムアウト）、ディスプレイとハードディスクドライブの電源を切ることによって電力を節約するモードです。スタンバイモードまたはスリープモードが終了すると、コンピュータはスタンバイモードまたはスリープモード前の動作状態に戻ります。

**注意:** スタンバイモードまたはスリープモードのときに AC 電源が切れたりバッテリを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

Windows XP でスタンバイモードに入るには、**スタート**→ **終了オプション** → **スタンバイ** をクリックします。

Windows Vista でスリープモードに入るには、Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックして、**Sleep**（スリープ）をクリックします。

**メモ:** コンピュータが反応しない場合は、電源ボタンを 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ります。

**電源オプションのプロパティ** ウィンドウまたは QuickSet 電源の管理ウィザードで電源の管理オプションをどのように設定しているかによって、次のいずれかの方法も使用できます。

- ディスプレイを閉じる。
- <Fn><Esc> を押す。

スタンバイモードまたはスリープモードから復帰するには、電力の管理オプションの設定に応じて、電源ボタンを押すか、ディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータはスタンバイまたはスリープモードから復帰しません。

## 休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードディスクドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

**注意:** お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、コンピュータからデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。

バッテリの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

Windows XP で休止状態モードにするには、**スタート** ボタン、**終了オプション** の順にクリックして、<Shift> を押したまま **休止状態** をクリックします。

Windows Vista で休止状態モードにするには、Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックし、**Hibernate**（休止状態）をクリックします。

**電源オプションのプロパティ** ウィンドウまたは QuickSet 電力の管理ウィザードで設定した電源の管理オプションに従って、次のいずれかを実行して休止状態モードに入ります。

- 電源ボタンを押す。
- ディスプレイを閉じる。
- <Fn><Esc> を押す。

**メモ:** PC カードまたは Express Card によっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを取り外して取り付けなおすか（ExpressCard またはダミーカードの取り外しを参照）、コンピュータを再スタート（再起動）してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細に関しては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

---

# 電源管理の設定

QuickSet 電力の管理ウィザードまたは Windows 電源オプションのプロパティを使用して、お使いのコンピュータの電力管理の設定を行うことができます。QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある QuickSet アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

## 電源オプションプロパティへのアクセス

### Windows XP

**スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックしてから、**電源オプション** をクリックします。

### Windows Vista

Windows Vista スタートボタン 、**Control Panel**（コントロールパネル）、**System and Maintenance**（システムとメンテナンス）とクリックし、**Power Options**（電源オプション）をクリックします。

---

# バッテリの充電

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリを充電し、その充電量を保持します。

**メモ:** バッテリを充電したまま、コンピュータをそのままにしておいても問題ありません。バッテリの内部回路によって過剰充電が防止されます。

バッテリがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリが充電されない場合があります。

のライトが青色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合、バッテリが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

バッテリの問題の解決については、電源の問題を参照してください。

---

## バッテリの取り外し

**警告: 適切でないバッテリを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリは、お使いの Dell™ コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリを使用しないでください。**

**警告: 以下の手順を実行する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントとコンピュータから外し、モデムを壁のコネクタとコンピュータから外し、その他すべての外付けケーブルをコンピュータから取り外します。**

**注意:** 起こり得るコネクタの損傷を防ぐため、すべての外付けケーブルをコンピュータから取り外してください。

**注意:** コンピュータがスタンバイモードの状態では、バッテリを交換しないでください。スタンバイモードの状態でバッテリを交換すると、コンピュータがシャットダウンし、未保存のデータは失われます。

バッテリを取り外すには次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。

2. コンピュータの底面にあるバッテリベイリリースラッチをスライドさせて、バッテリをバッテリベイから取り外します。

バッテリを取り付けるには、取り外し手順を逆の順序で実行します。

---

## バッテリの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリを取り外してください。バッテリは、長期間保管していると放電してしまいます。長期保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリを再充電して（バッテリの充電を参照）からお使いください。

---

目次に戻る

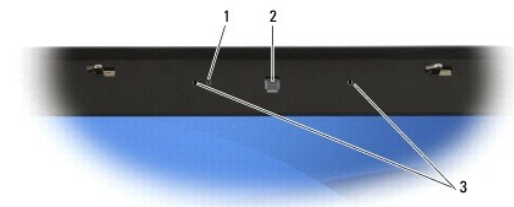
目次に戻る

# カメラの使い方

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



カメラはコンピュータディスプレイに内蔵されています。カメラと内蔵デジタルマイクを使用すると、写真やビデオの撮影、および他のコンピュータユーザーとの視覚的な言語コミュニケーションが可能になります。カメラの電源がオンの場合は、青色のカメラライトが点灯します。カメラの機能に関しては、仕様を参照してください。

**メモ:** コンピュータが作動していてカメラを使用している場合は、カメラが暖かくなります。

| 1 | カメラ | 2 | カメラインジケータ | 3 | デジタルマイク（2） |
|---|---|---|---|---|---|

## カメラのヘルプファイルへのアクセス

カメラの『Video Software Help』ファイルにアクセスするには、タスクトレイの アイコンを右クリックしてから、**Launch Webcam Center**（Webcam センターの起動）をクリックします。メニューから **Help**（ヘルプ）をクリックして、**Contents**（目次）を選びます。

## カメラの設定の手動調整

カメラの自動設定を使用しない場合は、手動でカメラ設定を調整できます。

1. タスクトレイの アイコンを右クリックして、**Launch Webcam Console**（Webcamコンソールを起動）をクリックします。
2. **Webcam Console**（Webcam コンソール）ウィンドウで次の操作を実行します。
   - **Camera**（カメラ）タブをクリックし、コントラストや輝度などのビデオ設定を調整します。
   - **Effects**（効果）タブをクリックし、音量レベルなどオーディオ設定を調整します。

カメラ設定およびその他のカメラに関する詳細については、カメラの『Video Software Help』ファイル（ カメラのヘルプファイルへのアクセスを参照）を参照してください。

## 写真またはビデオの撮影

1. タスクトレイの アイコンをクリックし、**QuickCapture** をクリックします。

   **QuickCapture** ウィンドウが表示され、青色のカメラライトが点灯します。これで、撮影する対象物または人にカメラを向けることができます。画面の **QuickCapture** ウィンドウに、カメラの撮影対象物または人が表示されます。

2. 写真を撮影するには、**Take a Picture**（写真を撮影する）をクリックします。

ビデオを録画するには、**Record a Video**（ビデオを録画する）をクリックします。

別の保存場所を指定しない限り、写真またはビデオは、ハードディスクドライブの **My Pictures**（マイピクチャ）フォルダに自動的に保存されます。

写真またはビデオ撮影については、カメラの『Video Software Help』ファイル（カメラのヘルプファイルへのアクセスを参照）を参照してください。

---

目次に戻る

[目次に戻る]

# カードの使い方

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## ExpressCard

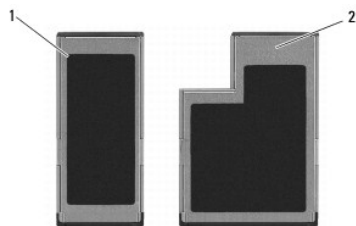
ExpressCard は追加のメモリ、有線およびワイヤレス通信、マルチメディアとセキュリティ機能を提供します。例えば、ExpressCard を使用すると、お使いのコンピュータでワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）接続が有効になります。

ExpressCard は 2 種類の形状をサポートしています。

- ExpressCard/34（34 mm 幅）
- ExpressCard/54（34 mm コネクタ付属の L 字型で 54 mm 幅）

The 34 mm カードは、34 mm と 54 mm の両方のカードスロットに適用しています。The 54 mm カードは、54 mm カードスロットのみに適用します。

サポートされている ExpressCard に関する情報については、仕様を参照してください。

**メモ:** ExpressCard は起動可能なデバイスではありません。

| 1 | ExpressCard/34 | 2 | ExpressCard/54 |
|---|---|---|---|

### ExpressCard のダミーカード

ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに ExpressCard を取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ExpressCard を取り付ける前に、ダミーカードを取り外します。ダミーカードを取り外すには、ExpressCard またはダミーカードの取り外しを参照してください。

### ExpressCard の取り付け

コンピュータは自動的にカードを検出します。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、ExpressCard は、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれているか、ラベルが付いています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

 **警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

ExpressCard を取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. カードの表を上にして持ちます。
2. PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

   カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。

コンピュータは ExpressCard を認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするように表示されたら、ExpressCard に付属のメディアを使用します。

## ExpressCard またはダミーカードの取り外し

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

ラッチを押してカードまたはダミーカードを取り外します。一部のラッチでは、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。

---

## メモリカードリーダー

メモリカードリーダーは、メモリカードに保存したデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示したり共有する方法を提供します。

**メモ:** メモリカードは、起動可能なデバイスではありません。

8-in-1 メモリカードリーダーは、以下のメモリカードを読み取ります。

- SD カード
- SDIO
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリスティック
- メモリスティック PRO
- xD ピクチャカード
- 高速 SD
- 高密度 SD

## メモリカードのダミーカード

お使いのコンピュータは、メモリカードリーダーにプラスチック製のダミーカードが取り付けられて出荷されます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。スロットにメディアメモリカードを取り付けないときのためにダミーカードを保管しておきます。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータには合わない場合があります。

メディアメモリカードを取り付ける前にダミーカードを取り外します。ダミーカードを取り外すには、メモリカードまたはダミーカードの取り外しを参照してください。

## メモリカードの取り付け

コンピュータが稼働中に、メディアメモリカードを取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

メモリカードは、通常、カード上面にスロットへの挿入方向を示す記号（三角形や矢印など）またはラベルが示されています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メモリカードを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. カードの表を上にして持ちます。

2. PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

   カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。

コンピュータがメモリカードを認識し、適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、該当する場合は、メモリカードに付属のメディアを使用します。

## メモリカードまたはダミーカードの取り外し

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**注意:** コンピュータからカードを取り外す前に、メモリカード設定ユーティリティを使用して（タスクトレイにある  アイコンをクリック）、カードを選択し、その動作を停止してください。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。

カードをスロットの方向に押してカードリーダーからリリースします。一部分がスロットの外に出たら、カードを取り外します。

---

目次に戻る

# コンピュータのクリーニング

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

## コンピュータ、キーボード、およびディスプレイ

**警告: コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータをコンセントから抜いて、取り付けてあるバッテリをすべて外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。**

**注意:** 原料にアンモニアが含まれるクリーニング剤は使用しないでください。

- キーボードのキーの間のほこりをクリーニングするには、圧縮空気の缶スプレーを使用します。

**注意:** コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。ディスプレイ専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

- 水、またはディスプレイ用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でディスプレイをきれいになるまで拭きます。
- 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、コンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

## CD、DVD、および BD

**注意:** CD/DVD ドライブおよび BD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD、DVD、または BD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

1. ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

**注意:** 円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

2. 糸くずの出ない柔らかな布で、ディスクの裏面（ラベルのない面）をディスクの中心から外側に向けて丁寧にまっすぐ拭きます。

   頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹸の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD および BD にも使用できます。

---

目次に戻る

目次に戻る

# 困ったときは

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## サポートを受けるには

 **警告: コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから外してください。**

お使いのコンピュータに不具合がある場合、以下の手順でその不具合を診断し、問題解決することができます。

1. コンピュータに生じている不具合に関連した情報と手順に関しては、トラブルシューティングを参照してください。
2. Dell Diagnositics（診断）プログラムの実行方法の手順については、Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。
3. Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。
4. インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポート（**support.jp.dell.com**）から、広範囲をカバーするオンラインサービスを利用してください。デルサポートオンラインの広範囲をカバーするリストについては、オンラインサービスを参照してください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合は、デルへのお問い合わせを参照してください。

**メモ:** デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。

デルサポートの使い方の説明は、テクニカルサポートおよびカスタマーサービスを参照してください。

### テクニカルサポートおよびカスタマーサービス

Dell™ のハードウェアに関するお問い合わせは、デルサポートサービスをご利用ください。サポートスタッフはコンピュータベースの診断を元に、正確な回答を迅速に提供します。

デルサポートサービスに問い合わせるには、お問い合わせになる前にを参照して、お住まいの地域の連絡先を確認するか、または **support.jp.dell.com** をご覧ください。

### DellConnect

DellConnect は、ブロードバンド接続を介してデルサービスとサポート担当者がお使いのコンピュータにアクセスできるようにするための、簡易なオンラインアクセスツールで、お客様立会いのもとに不具合の診断や修復を行います。詳細については、**support.jp.dell.com** へアクセスするか、DellConnect をクリックしてください。

### オンラインサービス

デル製品およびサービスについては、以下のウェブサイトでご覧いただけます。

**www.dell.com**

**www.dell.com / ap** （アジア太平洋地域のみ）

**www.dell.com / jp**（日本）

**www.euro.dell.com**（ヨーロッパ）

**www.dell.com / la**（ラテンアメリカとカリブ諸国）

**www.dell.ca**（カナダ）

デルサポートへは、以下のウェブサイトおよび E-メールアドレスでご連絡いただけます。

- デルサポートサイト

**support.dell.com**

**support.jp.dell.com**（日本）

**support.euro.dell.com**（ヨーロッパ）

- デルサポートの E-メールアドレス

mobile_support@us.dell.com

support@us.dell.com

la-techsupport@dell.com（ラテンアメリカおよびカリブ諸国のみ）

apsupport@dell.com（アジア太平洋地域）

## 24 時間納期案内電話サービス

ご注文になったデル製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、または、24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。 音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。

---

## ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題がある場合は、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。

---

## 製品情報

デル製品に関するお問い合わせ、または製品のご注文には、デルのウェブサイト **www.dell.com/jp** をご利用ください。お住まいの地域のお問い合わせ先電話番号、またはセールス担当者へのお問い合わせに関しては、デルへのお問い合わせを参照してください。

---

## 保証期間中の修理または返品について

『「こまった」ときの DELL パソコン Q&A』をご覧ください。

---

## お問い合わせになる前に

**メモ:** お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがおわかりになると、デルで自動電話サポートシステムをお受けになる場合に、より効率良くサポートが受けられます。また、お客様のサービスタグをお尋ねする場合もございます（お使いのコンピュータのバッテリベイにあります）。

必ず Diagnostics（診断）チェックリスト（Diagnostics（診断）チェックリストを参照）に記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

**警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

| **Diagnostics（診断）チェックリスト** |
| --- |
| 名前： |
| 日付： |
| 住所： |
| 電話番号： |
| サービスタグ（コンピュータのバッテリベイにあるバーコード）： |
| エクスプレスサービスコード： |
| 返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）： |
| オペレーティングシステムとバージョン： |
| 周辺機器： |
| 拡張カード： |
| ネットワークに接続されていますか？　はい　いいえ |
| ネットワーク、バージョン、およびネットワークアダプタ： |

| プログラムとバージョン： |
| --- |
| システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。 |
| エラーメッセージ、ビープコード、または診断コード： |
| 問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順： |

---

## デルへのお問い合わせ

**メモ：** 有効なインターネット接続が利用できない場合、お問い合わせ先の情報はお買い上げ明細書、梱包内容明細書、請求書、または Dell 製品カタログでご参照いただけます。

Dell では、各種のオンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションを用意しています。ご利用状況は国や製品により異なるため、いくつかのサービスはお客様の地域でご利用できない場合があります。営業、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスの問題に関するデルへのお問い合わせは次の手順を実行します。

1. **www.support.jp.dell.com** へアクセスします。
2. ページの下欄で、国と地域を確認します。
3. ページの左側にある **Contact Us**（お問い合わせ）をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートのリンクを選択します。
5. ご都合に合ったデルへのお問い合わせ方法をお選びください。

---

目次に戻る

目次に戻る

# ディスプレイの使い方

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## 輝度の調節

Dell™ コンピュータがバッテリで動作している場合、<Fn> とキーボードの上下矢印キーを押して、ディスプレイの輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。

**メモ:** 輝度のキーの組み合わせは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニタやプロジェクタには影響ありません。お使いのコンピュータが外付けモニタに接続してある場合に輝度レベルを変更しようとすると、輝度メーターは表示されることがありますが、外付けデバイスの輝度レベルは変更されません。

次のキーを押すと、ディスプレイの輝度を調節できます。

- <Fn> と上矢印キーを同時に押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニタは該当しません）、輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニタは該当しません）の輝度が下がります。

---

## プロジェクタの使い方

外付けデバイス（外付けモニタまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、コンピュータのディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

<Fn><F8> を押して、ビデオイメージをディスプレイのみまたは外付けデバイスのみに切り替えます。

---

## イメージとテキストを拡大する、またははっきり表示する

**メモ:** 画面解像度を現在の設定から変更する場合、お使いのコンピュータやディスプレイでサポートしていない設定に解像度を変更すると、イメージがぼやけたり、テキストが読みにくくなることがあります。現在の設定値を控えておき、必要な場合に元の設定値に戻すことができるようにしてから、ディスプレイの設定を変更してください。

画面解像度を調整して、画面上のテキストを読みやすくしたり、イメージの表示を変更することが可能です。解像度を上げると、画面上のアイテムの表示が小さくなります。逆に、解像度を低くすると、テキストやイメージの表示が大きくなるので、視力に障害を持つ方には有用です。特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオカードとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

**メモ:** プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されています。

画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされている設定に最も近いものに自動的に調整されます。

ディスプレイの画面解像度とリフレッシュレートを設定する場合は、お使いのコンピュータが使用しているオペレーティングシステムに対応する次の項の手順を実行します。

### Microsoft® Windows® XP

1. **スタート**→ **設定**→ **コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3. **作業を選びます...** で、変更する分野をクリックするか、**コントロールパネルを選んで実行します** で、**画面** をクリックします。
4. **画面のプロパティ** ウィンドウで、**設定** タブをクリックします。
5. **画面の色** および **画面の解像度** で設定を調整します。

**メモ:** 解像度を上げると、画面に表示されるアイコンおよびテキストが小さくなります。

### Windows Vista™

1. Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックして、**Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。

2. **Appearance and Personalization**（デザインとカスタマイズ）で、**Adjust screen resolution**（画面の解像度を調整）をクリックします。

3. **Display Settings**（ディスプレイの設定）ウィンドウの **Resolution** （解像度）で、スライドバーを左または右にスライドさせて画面の解像度を下げたり上げたりします。

4. その他の手順に関しては、**How do I get the best display?**（最高の表示を行う方法）をクリックします。

---

## 画面解像度およびリフレッシュレートの設定

**メモ:** 画面解像度を現在の設定から変更する場合、お使いのコンピュータやディスプレイでサポートしていない設定に解像度を変更すると、イメージがぼやけたり、テキストが読みにくくなることがあります。現在の設定値を控えておき、必要な場合に元の設定値に戻すことができるようにしてから、ディスプレイの設定を変更してください。

画面解像度を調整して、画面上のテキストを読みやすくしたり、イメージの表示を変更することが可能です。解像度を上げると、画面上のアイテムの表示が小さくなります。逆に、解像度を低くすると、テキストやイメージの表示が大きくなるので、視力に障害を持つ方には有用です。特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオカードとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

**メモ:** プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されています。

画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされている設定に最も近いものに自動的に調整されます。

ディスプレイの画面解像度とリフレッシュレートを設定する場合は、お使いのコンピュータが使用しているオペレーティングシステムに対応する次の項の手順を実行します。

### Microsoft Windows XP

1. **スタート**→ **設定**→ **コントロールパネル** をクリックします。

2. **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。

3. **作業を選びます...** で、変更する分野をクリックするか、**コントロールパネルを選んで実行します** で、**画面** をクリックします。

4. **画面のプロパティ** ウィンドウで、**設定** タブをクリックします。

5. **画面の色** および **画面の解像度** で設定を調整します。

**メモ:** 解像度を上げると、画面に表示されるアイコンおよびテキストが小さくなります。

### Windows Vista

1. Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックし、**Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。

2. **Appearance and Personalization**（デザインとカスタマイズ）で、**Adjust screen resolution**（画面の解像度を調整）をクリックします。

3. **Display Settings**（ディスプレイの設定）ウィンドウの **Resolution** （解像度）で、スライドバーを左または右にスライドさせて画面の解像度を下げたり上げたりします。

**メモ:** 詳しい手順については、**How do I get the best display?**（最高の表示にするには）をクリックしてください。

---

目次に戻る

目次に戻る

# 情報の検索方法

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**

**メモ:** 一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

**メモ:** 追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

| 何をお探しですか? | こちらをご覧ください |
|---|---|
| ・コンピュータの診断プログラム<br>・コンピュータのドライバ<br>・デバイスのマニュアル<br>・ノートブックシステムソフトウェア（NSS） | **Drivers and Utilities メディア**<br><br>マニュアルおよびドライバは、本コンピュータにすでにインストールされています。そのメディアを使用して、ドライバの再インストール、（ドライバとユーティリティの再インストールを参照）、Dell Diagnostics（診断）プログラム（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）の実行、またはマニュアルにアクセスすることができます。<br><br>メディア内に Readme ファイルが含まれている場合があります。この Readme ファイルでは、コンピュータの技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。<br><br>**メモ:** ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** で入手できます。 |
| ・安全にお使いいただくための注意<br>・認可機関の情報<br>・作業姿勢に関する情報<br>・エンドユーザライセンス契約 | **Dell™ 製品情報ガイド** |
| ・コンピュータのセットアップ方法 | **セットアップ図**<br><br>**メモ:** お使いのセットアップ図の外見が異なる場合があります。 |
| ・サービスタグとエクスプレスサービスコード | **サービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンス**<br><br>このラベルはお使いのコンピュータのバッテリベイに貼られています。<br><br>・サービスタグは、**support.jp.dell.com** をご参照の際に、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。<br>・エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。 |

| | |
|---|---|
| | |
| Microsoft Windows ライセンスラベル | ラベルは、システム底面のメモリモジュールカバーに貼られています。<br><br>**メモ:** お使いのオペレーティングシステムが Windows XP の場合、このラベルが異なる場合もあります。<br><br>**メモ:** セキュリティ対策の強化として、新たにデザインされた Microsoft Windows ライセンスラベルには、ラベルの一部が欠けている「穴」が組み込まれ、ラベルが剥がれにくくなっています。 |
| 技術情報 -トラブル解決ナビ、Q&A<br>サービスと保証- 問い合わせ先、保証、および修理に関する情報<br>サービスおよびサポート - サービス契約<br>Dell テクニカル Update Service - お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートをE-メールにて事前に通知するサービスです。<br>参照資料 - コンピュータのマニュアル、コンピュータの設定の詳細、製品の仕様、およびホワイトペーパー<br>ダウンロード - 認定されたドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート<br>ノートブックシステムソフトウェア(NSS)- お使いのコンピュータのオペレーティングシステムを再インストールする場合、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、プロセッサ、光学ドライブ、USB デバイスなどをサポートします。NSS はお使いのデルコンピュータが正しく動作するために必要なものです。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。 | **デルサポートサイト - support.jp.dell.com**<br><br>**メモ:** 適切なサポートサイトを表示するには、お住まいの地域または業務部門を選択します。<br><br>ノートブックシステムソフトウェアは、**support.jp.dell.com** にてダウンロードできます。<br><br>**メモ: support.jp.dell.com** のユーザーインタフェースは、選択の仕方によって異なります。 |
| ソフトウェアのアップグレードおよびトラブルシューティングのヒント - よくあるお問い合わせ(FAQ)、最新トピック、およびお使いのコンピュータ環境の一般的な状態 | **デルサポートユーティリティ**<br><br>デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされている自動アップグレードおよび通知システムです。このサポートは、お使いのコンピュータ環境のリアルタイムな状態のスキャン、ソフトウェアのアップデート、および関連するセルフサポート情報を提供します。タスクバーの アイコンからデルサポートユーティリティにアクセスします。詳細は、デルサポートユーティリティを参照してください。 |
| Windows XP または Windows Vista™ の使い方<br>プログラムとファイルの操作方法<br>デスクトップのカスタマイズ方法 | **Microsoft Windows XP および Windows Vista ヘルプとサポートセンター**<br><br>1. **Start**(スタート)→ **Help and Support**(ヘルプとサポート)をクリックします。<br>2. 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。<br>3. 問題に関連するトピックをクリックします。<br>4. 画面に表示される指示に従ってください。 |
| Dell QuickSet により制御されるネットワークアクティビティ、電力の管理ウィザード、ホットキー、およびその他の項目の情報<br>ゾーンの LED の色の変更方法、さまざまな LED 効果(ストロボライト、ブリージングライト、ライトのローテーションなど)の実行方法、選択した音楽プレーヤのビジュアリゼーションプラグインを有効または無効にする方法 | **Dell QuickSet ヘルプ**<br><br>『Dell QuickSet ヘルプ』を表示するには、Microsoft® Windows® タスクバーの QuickSet アイコンを右クリックし、**ヘルプ** を選択します。タスクバーは画面の右下にあります。 |
| オペレーティングシステムの再インストール方法 | **オペレーティングシステムメディア**<br><br>オペレーティングシステムは、このコンピュータにすでにインストールされています。お使いのオペレーティングシステムを再インストールするには、『オペレーティングシステム』メディアを使用します。『オーナーズマニュアル』で、お使いのオペレーティングシステムの復元を参照してください。<br><br>オペレーティングシステムを再インストールした後に、『Drivers and Utilities』メディアを使用して、コンピュータに同梱のデバイスドライバを再インストールします。<br><br>オペレーティングシステムの Product key(プロダクトキー)ラベルは、コンピュータに貼付されています。<br><br>**メモ:** 注文されたオペレーティングシステムによって、DVD の色が違います。 |

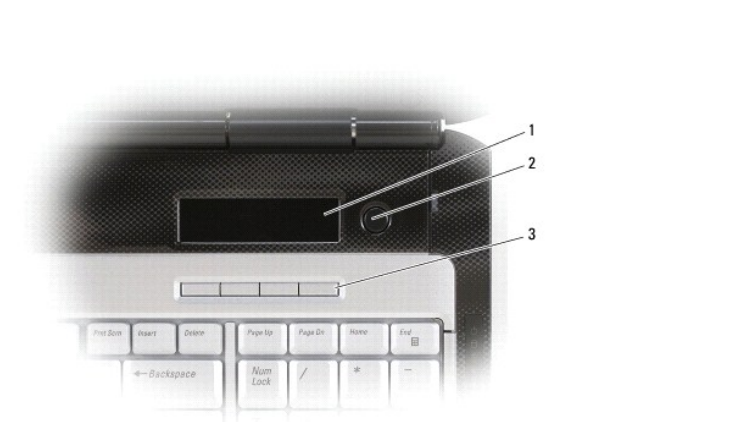
目次に戻る

# GamePanel の使い方

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**

- GamePanel アプリケーション

Logitech® GamePanel™ は、テキスト情報およびグラフィック情報を表示する小型のセカンダリモノクロ LCD で、ダッシュボードの右上隅に配置されています。この LCD は、メインディスプレイの表示を乱雑にすることなく、1 秒ごとのフレーム数、状態などのゲームに関する重要情報を表示します。メモリ利用率、CPU 利用率などゲーム以外の情報も表示できます。

GamePanel の設定は、LCD Manager(LCD マネージャ)で変更できます。LCD Manager(LCD マネージャ)にアクセスするには、**Start**(スタート) → **All Programs**(すべてのプログラム) → **Logitech**→ **Launch LCD Manager**(LCD マネージャの起動)をクリックします。

| 1 | GamePanel | 2 | GamePanel トグルボタン | 3 | GamePanel コントロールボタン |
|---|---|---|---|---|---|

GamePanel トグルボタンでは、GamePanel で提供されるさまざまなアプリケーションを切り替えることができます。

GamePanel コントロールボタンの最初の 2 つのボタンを使って LCD マネージャタブの値とオプションの間をナビゲートできます。3 番目のボタンで選択した値を確定し、4 番目のボタンでそれらをキャンセルします。

GamePanel の使い方の詳細については、LCD Manager(LCD マネージャ)インタフェースのヘルプを参照してください。

---

## GamePanel アプリケーション

GamePanel には次のアプリケーションが搭載されています。

- 未読メール用内蔵カウンタを備えたクロック
- Windows Media Player、iTunes、および Winamp で現在再生中のトラック / アーティスト / URL を表示するマルチメディアディスプレイ
- ストップウォッチおよびエッグタイマー機能を提供するカウントダウンアプリケーション
- CPU 利用率およびメモリ利用率をグラフで示すパフォーマンスモニタ
- POP3 メールアカウントの内容を定期的に確認し、新着 / 未読メールをプレビューできる POP3 E-メールアプリケーション

---

目次に戻る

目次に戻る

# 用語集

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

---

## A

**AC** - alternating current（交流）- コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと流れる電気の様式です。

**ACPI** - advanced configuration and power interface - Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

**AGP** - accelerated graphics port - システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

**AHCI** - Advanced Host Controller Interface - SATA ハードディスクドライブ対応のホストコントローラです。AHCI を使用することにより、ストレージドライバでネイティブコマンドキューイング（NCQ）やホットプラグなどのテクノロジが使用可能になります。

**ALS** - 環境照明センサー - ディスプレイの輝度を調整する機能です。

**ASF** - alert standards format - ハードウェアおよびソフトウェアの警告を管理コンソールに報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるように設計されています。

---

## B

**BIOS** - basic input/output system（基本入出力システム）- コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム（またはユーティリティ）です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれます。

**Blu-ray Disc™（BD）**- 50 GB の記憶容量、1080 ピクセルのフルビデオ解像度（HDTV 仕様）、また ネイティブの 7.1 チャネルや非圧縮サラウンドサウンドにも対応する光学ストレージテクノロジです。

**Bluetooth® ワイヤレステクノロジ** - 短距離（9 メートル）内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

**bps** - ビット / 秒 - データの転送速度を計測する標準単位です。

**BTU** - British thermal unit（英国熱量単位）- 熱量の単位です。

---

## C

**C** - セルシウス（摂氏）- 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

**CD-R** - CD recordable - 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

**CD-RW** - CD rewritable - 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。

**CD-RW ドライブ** - CD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

**CD-RW / DVD ドライブ** - コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

**CMOS** - 電子回路の一種です。コンピュータは、微量のバッテリで駆動する CMOS メモリを使用して日付、時刻、およびセットアップユーティリティオプションを保持しています。

**COA** - Certificate of Authenticity（実物証明書）- Windows の英数文字のコードで、コンピュータのラベルに印刷されています。Product Key（プロダクトキー）、またはProduct ID（プロダクトID）とも呼ばれます。

**CRIMM** - continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM）- メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

---

## D

**DDR SDRAM** - double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM）- データのバーストサイクルを二倍にする SDRAM の一種です。システム性能が向上します。

**DDR2 SDRAM** - double-data-rate 2 SDRAM（ダブルデータ速度 2 SDRAM）- 4 ビットのプリフェッチおよびその他のアーキテクチャの変更を使用して、メモリスピードを 400 MHz 以上に向上させる、DDR SDRAM の一種です。

**DIMM** - dual in-line memory module（デュアルインラインメモリモジュール）- システム基板上のメモリモジュールに接続する、メモリチップ搭載の回路基板です。

**DIN コネクタ** - 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は、PS/2 キーボードまたはマウスケーブルのコネクタに使用されます。

**DMA** - direct memory access - DMA チャネルを使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

**DMTF** - Distributed Management Task Force - 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

**DRAM** - dynamic random-access memory - コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

**DSL** - Digital Subscriber Line（デジタル加入者回線）- アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジです。

**DVD-R** - DVD recordable - 記録可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

**DVD+RW** - DVD rewritable - 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります）。

**DVD+RW ドライブ** - DVD やほとんどの CD メディアを読み込んだり、DVD+RW（書き換え可能 DVD）に書き込んだりすることができるドライブです。

**DVI** - digital video interface（デジタルビデオインタフェース）- コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル送信の標準です。

---

## E

**ECC** - error checking and correction（エラーチェックおよび訂正）- メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取る際に、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

**ECP** - extended capabilities port - 改良された双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの拡張仕様の 1 つです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

**EIDE** - enhanced integrated device electronics - ハードディスクドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

**EMI** - electromagnetic interference（電磁波障害）- 電磁放射線によって引き起こされる電気障害です。

**ENERGY STAR®** - Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

**EPP** - enhanced parallel port - 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタのデザインです。

**ESD** - electrostatic discharge（静電気放出）- 静電気の急速な放電のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

**ExpressCard** - PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。ExpressCard の一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両規格をサポートします。

---

## F

**FBD** - fully-buffeblack DIMM - DDR2 DRAM チップ、および DDR2 SDRAM チップとシステム間の通信を高速化するアドバンスドメモリバッファ（AMB）を搭載した DIMM です。

**FCC** - Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会）- コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

**FSB** - front side bus - マイクロプロセッサと RAM 間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

**FTP** - file transfer protocol（ファイル転送プロトコル）- インターネットに接続されたコンピュータ間で、ファイルを交換するための標準インターネットプロトコルです。

---

## G

**G** - グラビティ - 重力の計測単位です。

**GB** - ギガバイト - データの単位です。1 GB は 1024 MB（1,073,741,824 バイト）です。ハードディスクドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

**GHz** - ギガヘルツ - 周波数の計測単位です。1 GHz は 10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

**GUI** - graphical user interface - メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーと相互にやり取りするソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

---

## H

**HDMI** - ハイデフィニッションマルチメディアインタフェース（HDMI）は、非圧縮ストリームを転送可能な、全デジタルオーディオ / ビデオインタフェースです。

**HTTP** - hypertext transfer protocol - インターネットに接続されたコンピュータ間でファイルを交換するためのプロトコルです。

**Hz** - ヘルツ - 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ（kHz）、メガヘルツ（MHz）、ギガヘルツ（GHz）、またはテラヘルツ（THz）単位で計測される場合もあります。

---

## I

**IC** - integrated circuit（集積回路）- コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板、またはチップです。

**IDE** - integrated device electronics - ハードディスクドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

**IEEE 1394** - Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. - コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

**I/O** - input/output（入出力）- コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力する動作、またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

**I/O アドレス** - 特定のデバイス（シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど）に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

**IrDA** - Infrablack Data Association - 赤外線通信の国際規格を標準化する団体です。

**IRQ** - interrupt request（割り込み要求）- デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

**ISP** - Internet service provider（インターネットサービスプロバイダ）- ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料（月表い）で提供します。

---

## K

**Kb** - キロビット - データの単位です。1 Kb は、1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

**KB** - キロバイト - データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

**kHz** - キロヘルツ - 1,000 Hz に相当する周波数の単位です。

---

## L

**LAN** - local area network（ローカルエリアネットワーク）- 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

**LCD** - liquid crystal display（液晶ディスプレイ）- ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルのディスプレイに用いられる技術です。

**LED** - light-emitting diode（発光ダイオード）- コンピュータの状態を示す光を発する電子部品です。

**LPT** - line print terminal - プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続のためのポートです。

---

## M

**Mb** - メガビット - メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

**Mbps** - メガビット / 秒 - 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

**MB** - メガバイト - 1,048,576 バイトに相当するデータストレージの単位です。または 1,024 KB を表します。ハードディスクドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

**MB/sec** - メガバイト / 秒 - 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

**MHz** - メガヘルツ - 周波数の単位です。1 秒間に 1,000,000 サイクルで 1 MHz です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

**MP** - メガピクセル - デジタルカメラで使用される画像の解像度の単位です。

**ms** - ミリ秒 - 1,000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

---

## N

**NIC** - ネットワークアダプタを参照してください。

**ns** - ナノ秒 - 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

**NVRAM** - nonvolatile random access memory（不揮発性ランダムアクセスメモリ）- コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止した場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、現在の日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

---

## P

**PC カード** - PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

**PCI** - peripheral component interconnect - PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

**PCI Express** - プロセッサとそれに取り付けられたデバイスとのデータ転送速度を向上させる、PCI インタフェースの修正版です。PCI Express は、250 MB/秒〜 4 GB/秒の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

**PCMCIA** - Personal Computer Memory Card International Association - PC カードの規格を協議する国際的組織です。

**PIO** - programmed input/output - データパスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

**POST** - power-on self-test（電源投入時の自己診断）- BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードディスクドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

**PS/2** - personal system/2 - PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタの一種です。

**PXE** - pre-boot execution environment - WfM（Wiblack for Management）標準で、オペレーティングシステムのないネットワークコンピュータを設定して、リモートで起動できるようにします。

---

## R

**RAID** - blackundant array of independent disks - データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装される RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 があります。

**RAM** - random-access memory（ランダムアクセスメモリ）- プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

**readme ファイル** - ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

**RFI** - radio frequency interference（無線電波障害）- 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電蚕周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

**ROM** - read-only memory（読み取り専用メモリ）- コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

**RPM** - revolutions per minute - 1 分間に発生する回転数です。ハードディスクドライブ速度の計測に使用します。

**RTC** - real time clock（リアルタイムクロック）- システム基板上にあるバッテリで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

**RTCRST** - real-time clock reset（リアルタイムクロックリセット）- いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

---

## S

**SAS** - serial attached SCSI - 原型の SCSI パラレルアーキテクチャとは対照的に、より高速のシリアルバージョンの SCSI インタフェースです。

**SATA** - serial ATA（シリアル ATA）- より高速のシリアルバージョンの ATA（IDE）インタフェースです。

**SCSI** - small computer system interface - ハードディスクドライブ、CD ドライブ、プリンタ、スキャナなどのデバイスをコンピュータに接続するための高速インタフェースです。SCSI では、単一のコントローラを使って多数のデバイスを接続できます。SCSI コントローラバスでは、個々の識別番号を使って各デバイスにアクセスします。

**SDRAM** - synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）- DRAM のタイプで、プロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

**SIM** - サブスクライバ識別モジュール- SIM カードには、音声通信およびデータ通信を暗号化するマイクロチップが内蔵されています。SIM カードは電話やノートブックコンピュータに使用できます。

**S/PDIF** - Sony/Philips Digital Interface - ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

**Strike Zone™** -（コンピュータの電源がオンまたはオフに関わらず）コンピュータが共振ショックを受けた場合、または落下した場合に制動装置として機能し、ハードディスクドライブを保護するプラットフォームベースの強化領域です。

**SVGA** - super-video graphics array - ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準です。SVGA の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニタ、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

**S ビデオ TV 出力** - テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

**SXGA** - super-extended graphics array - 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

**SXGA+** - super-extended graphics array plus - 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

---

## T

**TAPI** - telephony application programming interface - 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスが Windows のプログラムで使用できるようになります。

**TPM** - trusted platform module - ハードウェアベースのセキュリティ機能です。セキュリティソフトウェアと併用して、ファイル保護や E-メール保護などの機能を有効にすることにより、ネットワークおよびコンピュータのセキュリティを強化します。

---

## U

**UAC** - user account control（ユーザーアカウントコントロール）- Microsoft Windows Vista™ のセキュリティ機能です。有効に設定すると、ユーザーアカウントとオペレーティングシステム設定へのアクセス間のセキュリティに追加レイヤが提供されます。

**UMA** - unified memory allocation（統合メモリ振り分け）- ビデオに動的に振り分けられるシステムメモリです。

**UPS** - uninterruptible power supply（無停電電源装置）- 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

**USB**- universal serial bus（ユニバーサルシリアルバス）- USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナ、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス、イメージングデバイス、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

**UTP** - unshielded twisted pair（シールドなしツイストペア）- ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電蚕波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

**UXGA** - ultra extended graphics array - 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

---

## V

**V** - ボルト - 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

---

## W

**W** - ワット - 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

**WHr** - ワット時 - バッテリのおおよその充電容量を表すのに通常使われる単位です。たとえば、66 WHr のバッテリは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

**WLAN** - Wireless Local Area Network（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）の略です。インターネットアクセスを可能にするアクセスポイントやワイヤレスルーターを使用し、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータを指します。

**WWAN** - Wireless Wide Area Network（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）の略です。セルラーテクノロジを使用した、ワイヤレスの高速データネットワークで、WLAN よりもはるかに広い地域に対応します。

**WXGA** - wide-aspect extended graphics array - 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

---

## X

**XGA** - extended graphics array - 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

---

## Z

**ZIF** - zero insertion force - コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできるソケットやコネクタの一種です。

**Zip** - 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルは自己解凍型ファイルであり、ファイル名の拡張子は **.exe** です。自己解凍型ファイルは、ダブルクリックすることで解凍できます。

**Zip ドライブ** - Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約2 倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

---

## あ

**アンチウイルスソフトウェア** - お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

**ウイルス** - 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

**エクスプレスサービスコード** - Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。エクスプレスサービスコードが利用できない国もあります。

**オンボード** - 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

---

## か

**カーソル** - キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

**解像度** - プリンタで印刷される画像や、またはモニタに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合です。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

**書き込み保護** - ファイルやメディアのデータ内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

**拡張カード** - コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。例としてビデオカード、サウンドカードなどがあります。

**拡張型 PC カード** - 拡張型 PC カードは、取り付けた際に PC カードスロットからカードの端が突き出しています。

**拡張スロット** - 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上のコネクタです（コンピュータによって異なる場合もあります）。

**拡張ディスプレイモード** - お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニタを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

**壁紙** - Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

**キーの組み合わせ** - 複数のキーを同時に押して実行するコマンドです。

**起動順序** - コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

**起動メディア** -CD、DVD、またはフロッピーディスクなど、コンピュータを起動するのに使用するディスクです。ハードディスクドライブが損傷した場合や、コンピュータがウィルスに感染した場合など、起動 CD、DVD、またはフロッピーディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities』メディアは、起動メディアの一つです。

**キャッシュ** - 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

**L1 キャッシュ** - プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

**L2 キャッシュ** - プロセッサに外付けされた、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュ。

**休止状態モード** - メモリ内のすべてをハードディスクドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードディスクドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

**クロックスピード** - システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

**グラフィックスモード** - x 水平ピクセル数 X y 垂直ピクセル数 X z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

**光学ドライブ** - CD、DVD、または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。光学ドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

**コントローラ** - プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

**コントロールパネル** - 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows ユーティリティです。

---

## さ

**サージプロテクタ** - コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（雷などの原因で）から、コンピュータを保護します サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 ％以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

**サービスタグ** - コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの **support.jp.dell.com** にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話で問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

**システム基板** - コンピュータのメイン回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

**指紋リーダー** - 固有の指紋を使ってユーザーの身元証明を行う読み取りセンサーで、コンピュータのセキュリティ保護をサポートします。

**ショートカット** - 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

**シリアルコネクタ** - I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

**スキャンディスク** - Microsoft のユーティリティで、ファイル、フォルダ、ハードディスクの表面のエラーをチェックします。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

**スタンバイモード** - コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして節電する、省電力モードです。

**スマートカード** - プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

**赤外線センサー** - リモコンを操作する消費者赤外線センサーです。

**セットアッププログラム** - ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するために使うプログラムです。**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

**セットアップユーティリティ** - コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

---

## た

**タスクトレイ** - コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

**通行許可証** - 物品を外国へ一時的に持ち込む場合、一時輸入通関ができる通関手帳です。商品パスポートとも呼ばれます。

**テキストエディター** - たとえば Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

**ディスクストライピング** - 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

**デバイス** - コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

**デバイスドライバ** - ドライバを参照してください。

**デュアルコア** - 1 つのプロセッサパッケージに 2 つの物理計算ユニットを集積し、それによって計算効率とマルチタスク機能を向上させたテクノロジです。

**デュアルディスプレイモード** - お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニタを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルモニタとも呼ばれます。

**トラベルモジュール** - ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

**ドッキングデバイス** - お使いのノートブックをデスクトップの作業環境に合わせたポートの複製、ケーブル管理、またはセキュリティ機能を提供します。

**ドメイン** - ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

**ドライバ** - プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

---

## な

**ネットワークアダプタ** - ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

---

## は

**ハードディスクドライブ** - ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードディスクドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

**ハイパースレッディング** - 1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させ、特定のタスクを同時に実行できるようにすることで、コンピュータのパフォーマンス全般を強化する Intel テクノロジです。

**バイト** - コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

**バス** - コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

**バス速度** - バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

**バッテリ駆動時間** - ノートブックコンピュータのバッテリでコンピュータを駆動できる持続時間（分または時間）です。

**バッテリの寿命** - ノートブックコンピュータのバッテリが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

**パーティション** - ハードディスクドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

**パラレルコネクタ** - I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

**ヒートシンク** - 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

**ビット** - コンピュータが認識するデータの最小単位です。

**ビデオ解像度** - 解像度を参照してください。

**ビデオコントローラ** - お使いのコンピュータに（モニタの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供する、ビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

**ビデオメモリ** - ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数

に影響を与えます。

**ビデオモード** - テキストやグラフィックスをモニタに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、x 列 × y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

**ピクセル** - ディスプレイ画面の構成単位である点です。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 × 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

**ファーレンハイト（華氏）** - 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

**フォーマット** - ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

**フォルダ** - ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化したりする入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

**プラグアンドプレイ** - デバイスを自動的に設定するコンピュータの機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

**プロセッサ** - コンピュータ内部で中心的に演算を行うコンピュータチップです。プロセッサは、CPU（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

---

## ま

**ミニカード** - 通信用 NIC などの内蔵周辺機器用に設計された小型のカードです。ミニカードの機能は、標準の PCI 拡張カードと同等です。

**ミニ PCI** - モデムや NIC など通信機能を主とする内蔵周辺機器の規格です。ミニ PCI カードは、標準の PCI 拡張カードと同等の機能を持つ小型の外付けカードです。

**メモリ** - コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

**メモリアドレス** - データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

**メモリマッピング**- スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

**メモリモジュール** - システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

**モジュールベイ** - 光学ドライブ、セカンドバッテリ、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

---

**読み取り専用** - 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み防止に設定している場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

---

**リフレッシュレート** - 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（垂直周波数とも呼ばれます）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

**ローカルバス** - デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

---

目次に戻る

目次に戻る

# キーボードの使い方

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



## テンキーパッド

テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。 ライトは、キーパッドが有効であることを示しています。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

## キーボードの照明

お使いのコンピュータには、キーボード照明機能があります。キーボードに照明をあてる複数の LED が LCD に内蔵されています。<Fn><→> キーを押すと、次のキーボード照明の各オプションを一巡することができます。

- 常にオン
- 常にオフ
- 自動モード

自動モードでは、キーボード照明の LED が環境照明のレベルに応じて自動的にオンかオフになります。

## キーの組み合わせ

### キーボードの照明

| <Fn> と右矢印キー | キーボード照明ライトのオンとオフを切り替えます。 |
|---|---|

### システム関連

| <Ctrl><Shift><Esc> | **タスクマネージャ** ウィンドウを開きます。 |
|---|---|

### バッテリ

| <Fn><F3> | Dell™ QuickSet バッテリメーターを表示します。 |
|---|---|

### 電源管理

| <Fn><Esc> | 省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。 |
|---|---|
| <Fn><F1> | コンピュータを休止状態モードにします。Dell QuickSet が必要です。 |

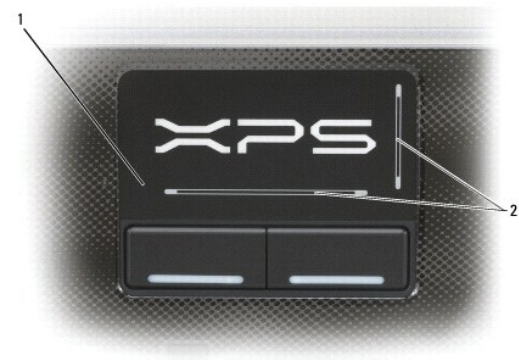
## Microsoft® Windows® ロゴキー関連

| | |
|---|---|
| Windows ロゴキーと<m> | すべてのウィンドウを最小化します。 |
| Windows ロゴキーと<Shift><m> | 最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows ロゴキーと <m> のキーの組み合わせを使用した後で、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして作動します。 |
| Windows ロゴキーと<e> | Windows エクスプローラを開きます。 |
| Windows ロゴキーと<r> | **ファイルを指定して実行** ダイアログボックスを開きます。 |
| Windows ロゴキーと<f> | **検索結果** ダイアログボックスを開きます。 |
| Windows ロゴキーと<Ctrl><f> | **Search Results-Computer**（検索結果ーコンピュータ）ダイアログボックスを開きます（ネットワークに接続している場合）。 |
| Windows ロゴキーと<Pause> | **システムのプロパティ** ダイアログボックスを開きます。 |

文字のリピートレートなどのキーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開き、**ハードウェアとサウンド** をクリックしてから、**キーボード** をクリックします。コントロールパネルに関する詳細は、Windows のヘルプとサポートセンターを参照してください。

## タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドさせます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | タッチパッド | 2 | スクロールゾーン |

- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

目次に戻る

目次に戻る

# マルチメディアの使い方

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## メディアの再生

**注意:** 光学ドライブを開閉するときは、ドライブトレイに上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。

**注意:** メディアの再生中は、コンピュータを動かさないでください。

1. ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
2. トレイの中央にラベルのある方を上にしてディスクを置き、ディスクをスピンドルにきちんとはめ込みます。

3. トレイをドライブに押し戻します。

データを保存またはコピーするためのメディアのフォーマットに関しては、コンピュータに付属のメディアソフトウェアを参照してください。

**メモ:** メディアをコピーする場合には、すべての著作権法に基付いていることを確認してください。

CD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。

| | |
|---|---|
| ▶ | 再生 |
| ◀◀ | 現在のトラック内での巻き戻し |
| ❚❚ | 一時停止 |
| ▶▶ | 現在のトラック内での早送り |
| ■ | 停止 |
| ❙◀◀ | 直前のトラックへ戻る |
| ⏏ | 取り出し |
| ▶▶❙ | 直後のトラックへ進む |

DVD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。

| | |
|---|---|
| | 停止 |
| | 鑑賞中の章を再スタート |
| | 再生 |
| | 早送り |
| | 一時停止 |
| | 巻き戻し |
| | スローモーション |
| | 次の章へ進む |
| | 鑑賞中の章を続けて再生 |
| | 前の章へ戻る |
| | 取り出し |

メディアの再生については、メディアプレーヤーの **Help**（ヘルプ）（利用可能な場合）をクリックしてください。

---

## Dell Express Card リモコン（オプション）を使用したメディアの再生

Dell Express Card リモコンは、Dell Media Direct および Windows Vista™ Media Center をコントロールするために設計されています。特定のコンピュータのみで動作します。詳細については、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** を参照してください。

Dell Express Card リモコンを使用してメディアを再生するには、次の手順を実行します。

1. お使いの Express Card リモコンにコイン型電池を取り付けます。
2. **Start**（スタート）→ **Programs**（プログラム）から、Windows Vista™ Media Center を起動します。
3. リモコンボタンを使用して、メディアを再生します。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 赤外線トランスミッタ | 2 | 上矢印 |
| 3 | OK / Enter / 選択 | 4 | 右矢印 |
| 5 | 下矢印 | 6 | 再生 / 一時停止 |
| 7 | 先送り | 8 | スキップ送り |
| 9 | 停止 | 10 | スキップ戻し |

| 11 | 巻き戻し | 12 | 戻る |
|---|---|---|---|
| 13 | 左矢印 | 14 | ミュート |
| 15 | 音量を下げる | 16 | ページダウン |
| 17 | 音量を上げる | 18 | ページアップ |

---

## CD、DVD、および Blu-ray Disc™(BD)メディアのコピー

**メモ:** メディアをコピーする際は、すべての著作権法に基づいていることを確認してください。

**メモ:** デルにより提供される光学ドライブのタイプは国により異なることがあります。

本項は、DVD+/-RW、コンボ、または BD-RE ドライブを備えるコンピュータのみに適用されます。

以下の手順では、Roxio Creator を使用して CD、DVD、または BD のバックアップを作成する方法について説明します。お使いのコンピュータに保存したオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータのバックアップをするなど、その他の目的に Roxio Creator を利用できます。ヘルプを参照するには、Roxio Creator を起動して、<F1> を押します。

Dell コンピュータに搭載されている DVD ドライブと BD ドライブは、HD-DVD メディアをサポートしません。サポートされているメディアの形式の一覧は、空の CD、DVD、および BD メディアの使い方を参照してください。

## CD、DVD、または BD のコピー方法

**メモ:** 市販の DVD と BD の大部分は著作権のプロテクションがかかっており、Roxio Creator Plus ではコピーできません。

**メモ:** BD メディアは、他の BD メディアにのみコピーできます。

**メモ:** BD-R から BD-RE にコピーしても、バックアップは作成されません。

1. **Start**(スタート) → **All Programs**(すべてのプログラム)→ **Roxio Creator**→ **Projects**(プロジェクト)→ **Copy**(コピー)とクリックします。

2. **Copy**(コピー)タブで、**Copy Disc**(ディスクコピー)をクリックします。

3. CD、DVD、または BD をコピーするには、次の手順を実行してください。

   - 光学ドライブが 1 つしかない場合、ソースディスクをドライブに挿入し、設定が正しことを確認してから、**Copy Disc**(ディスクコピー)ボタンをクリックして続行します。コンピュータがソースディスクを読み取り、コンピュータのハードディスクドライブのテンポラリフォルダにそのデータをコピーします。

     プロンプトが表示されたら、ドライブに空のディスクを挿入し、**OK** をクリックします。

   - 光学ドライブが 2 つある場合、ソースディスクを挿入したドライブを選択し、**Copy Disc**(ディスクコピー)ボタンをクリックして続行します。コンピュータがソースディスクのデータを空のディスクにコピーします。

   ソースディスクのコピーが終了すると、作成されたディスクは自動的に出てきます。

## 空の CD、DVD、および BD メディアの使い方

DVD 書込み可能ドライブは、CD と DVD の両方の記録メディアに書き込みができます。BD 書込み可能ドライブは、CD、DVD、および BD の記録メディアに書き込みができます。

音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、この CD-R を上書きすることはできません(詳細については、Sonic のマニュアルを参照してください)。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の CD-RW を使用します。

空の DVD+/-R、または BD-R メディアは、大容量の情報を永久的に保存するのに使用できます。DVD+/-R または BD-R を作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクがファイナライズまたはクローズされた場合、そのディスクに再度書き込みができない場合があります。後でディスク内の情報を消去、再書き込み、または更新する場合は、空の DVD+/-RW または BD-RE メディアを使用してください。

**書き込み可能 DVD およびコンボドライブ**

| メディアタイプ | 読み取り | 書き込み | 書換可能 |
|---|---|---|---|
| CD-R | はい | はい | いいえ |
| CD-RW | はい | はい | はい |
| DVD+R | はい | はい | いいえ |
| DVD-R | はい | はい | いいえ |
| DVD+RW | はい | はい | はい |
| DVD-RW | はい | はい | はい |
| DVD+R DL | はい | はい | いいえ |

| DVD-R DL | はい | はい | いいえ |
|---|---|---|---|

Blu-Ray ドライブ

| メディアタイプ | 読み取り | 書き込み | 書換可能 |
|---|---|---|---|
| CD-R | はい | はい | いいえ |
| CD-RW | はい | はい | はい |
| DVD+R | はい | はい | いいえ |
| DVD-R | はい | はい | いいえ |
| DVD+RW | はい | はい | はい |
| DVD-RW | はい | はい | はい |
| DVD+R DL | はい | はい | いいえ |
| DVD-R DL | はい | いいえ | いいえ |
| BD-R | はい | はい | いいえ |
| BD-RE | はい | はい | はい |

## 便利なヒント

- Roxio Creator を開始し、Creator プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® Explorer を使用して、ファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ＆ドロップすることができます。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1～2 MB の空きスペースがあることが必要です。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用します。CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- Roxio Creator でオーディオ DVD は作成できません。
- 市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、すべての DVD フォーマットをサポートするとは限りません。お使いの DVD プレイヤーが対応するフォーマットのリストに関しては、DVD プレイヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 市販されているホームシアターシステム用 BD プレーヤーは、すべての BD フォーマットをサポートしているとは限りません。お使いの BD プレイヤーが対応するフォーマットの一覧を参照するには、BD プレイヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- Roxio のウェブサイト **www.sonicjapan.co.jp** をご覧ください。

---

## 音量の調整

**メモ:** スピーカーが無音（ミュート）に設定されている場合、メディアの音声を聞くことができません。

1. タスクトレイのボリュームアイコンを右クリックします。
2. **Open Volume Mixer**（ボリュームミキサーの起動）をクリックします。
3. 音量つまみを上下にスライドさせて、ボリュームの増減を調整します。

ボリュームコントロールオプションの詳細に関しては、**Volume Mixer**（ボリュームミキサー）ウィンドウにある **Help**（ヘルプ）をクリックします。

音量メーターにミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクトレイの QuickSet アイコンをクリックして **Disable On Screen Volume Meter**（画面のボリュームメーターの無効）を選択、または選択解除にするか、あるいは、ボリュームコントロールボタンを押して、画面のボリュームメーターを有効または無効にします。

音量を調整するには、コンピュータの前面にあるメディアコントロールボタンも使用できます（メディアコントロールボタンを参照）。

---

## 画像の調整

現在設定している解像度と色数がメモリを使用し過ぎてメディアを再生できません、というエラーメッセージが表示される場合には、画面のプロパティの設定で調整します。

### Windows XP

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。

2. **作業を選びます...** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。

3. **画面の解像度** で、バーをクリックしてドラッグし、解像度の設定を下げます。

4. **画面の色** ドロップダウンメニューで、**中（16ビット）**をクリックし、**OK** をクリックします。

### Windows Vista™

1. Windows Vista Start（スタート）ボタン 、**Control Panel**（コントロールパネル）、**Appearance and Personalization**（デスクトップのカスタマイズ）の順にクリックします。

2. **Personalization**（カスタマイズ）で、**Adjust Screen Resolution** （画面の解像度を調整）をクリックします。

   **Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウが表示されます。

3. **Resolution**（解像度）で、バーをクリックしてドラッグし、解像度の設定を下げます。

4. **Colors**（画面の色）ドロップダウンメニューで、**Medium （16 bit）**（中（16ビット））をクリックします。

5. **OK** をクリックします。

---

## Dell MediaDirect™ の使い方

Dell MediaDirect は、デジタルメディア対応のインスタントオン（瞬時立ち上がり）マルチメディア再生モードです。ヒンジカバーにある Dell MediaDirect ボタンを押して、Dell MediaDirect を起動します。

### コンピュータの電源がオンの状態、あるいはスタンバイモードまたはスリープモードの場合

コンピュータの電源がオンの状態、スタンバイモード（Windows XP）、またはスリープモード（Windows Vista）の場合には、Dell MediaDirect ボタンを押すと、セットアップユーティリティに応じて Windows Media Center Manager または Dell Media Experience のいずれかが起動します。両方のアプリケーションが存在する場合は、Windows Media Center Manager が起動します。

### コンピュータの電源がオフの状態、または休止状態モードの場合

コンピュータの電源がオフの状態または休止状態モードの場合には、Dell MediaDirect ボタンを押すと、コンピュータの電源が入り、Dell MediaDirect アプリケーションが自動的に起動します。

| 1 | Dell MediaDirect ボタン |
|---|---|

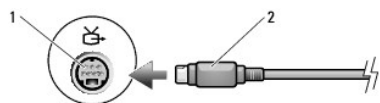
**メモ：** お使いのハードディスクドライブを再フォーマットする場合、コンピュータに付属の MediaDirect 再インストールメディアを使用して Dell MediaDirect を再インストールします。詳細については、お使いのコンピュータに付属の『Reinstalling Dell MediaDirect』テックシートを参照してください。

Dell MediaDirect の使い方の詳細に関しては、Dell MediaDirect アプリケーションの **ヘルプ** メニューを参照してください。

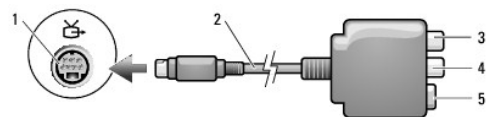
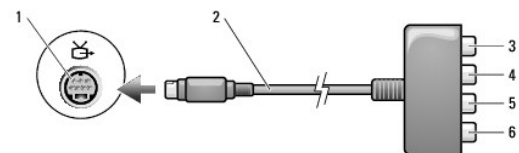
## テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続

**メモ:** テレビまたはその他のオーディオデバイスとコンピュータを接続するビデオケーブルとオーディオケーブルは、お使いのコンピュータに付属していない場合があります。

お使いのコンピュータには S ビデオ TV 出力および DVI-I コネクタが装備されています。標準の S ビデオケーブル、コンポジットビデオアダプタケーブル、コンポーネントビデオアダプタケーブル（デルから購入できます）、または DVI-HDMI アダプタケーブル（デルから購入できます）と共に使用して、コンピュータをテレビに接続できます。

お使いのテレビには、S ビデオ入力コネクタ、コンポジットビデオ入力コネクタ、コンポーネントビデオ入力コネクタ、または HDMI コネクタのいずれかがあります。テレビで使用可能なコネクタのタイプによって、市販の S ビデオケーブル、コンポジットビデオケーブル、コンポーネントビデオケーブル、または DVI-HDMI アダプタケーブルを使用してコンピュータをテレビに接続できます。

| 1 | S ビデオ TV 出力コネクタ | 2 | S ビデオコネクタ |
|---|---|---|---|

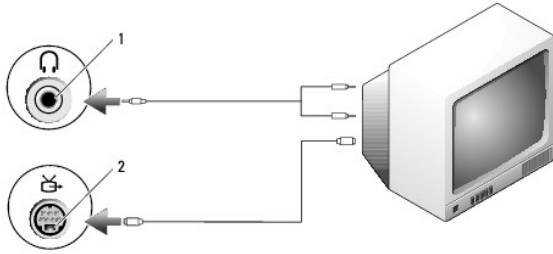
| 1 | S ビデオ TV 出力コネクタ | 2 | コンポジットビデオアダプタ |
|---|---|---|---|
| 3 | S/PDIF デジタルオーディオコネクタ | 4 | コンポジットビデオ出力コネクタ |
| 5 | S ビデオコネクタ | | |

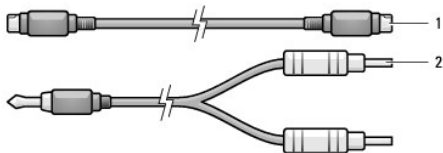
| 1 | S ビデオ TV 出力コネクタ | 2 | コンポーネントビデオアダプタ |
|---|---|---|---|
| 3 | S/PDIF デジタルオーディオコネクタ | 4 | Pr（赤色）コンポーネントビデオ出力コネクタ |
| 5 | Pb（青色）コンポーネントビデオ出力コネクタ | 6 | Y（緑色）コンポーネントビデオ出力コネクタ |

お使いのコンピュータを TV またはオーディオデバイスに接続する場合には、ビデオおよびオーディオケーブルを次のいずれかの組み合わせでコンピュータと接続することをお勧めします。

- S ビデオおよび標準オーディオ
- コンポジットビデオおよび標準オーディオ
- コンポーネント出力ビデオおよび標準オーディオ
- DVI-HDMI アダプタケーブルおよび標準オーディオ

**メモ:** コンピュータをテレビまたはオーディオデバイスに接続する場合は、ビデオとオーディオのケーブルを次のいずれかの組み合わせでコンピュータに接続することをお勧めします。

コンピュータとテレビをビデオケーブルおよびオーディオケーブルで接続し終わったら、コンピュータとテレビが機能するようにコンピュータを有効にする必要があります。コンピュータがテレビを認識して、正常に動作することを確認するために、テレビの表示設定の有効化を参照してください。また、S/PDIF デジタルオーディオをお使いの場合は、S/PDIF デジタルオーディオの有効化を参照してください。

## S ビデオおよび標準オーディオ

| 1 | オーディオコネクタ | 2 | S ビデオ TV 出力コネクタ |
|---|---|---|---|

| 1 | 標準 S ビデオケーブル | 2 | 標準オーディオケーブル |
|---|---|---|---|

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

   **メモ:** お使いの TV またはオーディオデバイスがS ビデオ対応で S/PDIF デジタルオーディオ対応ではない場合には、（TV/デジタルオーディオケーブルを使用せず）S ビデオケーブルを直接コンピュータの S ビデオ出力 TV 出力コネクタに接続します。

2. S ビデオケーブルの一方の端を、コンピュータの S ビデオ出力コネクタに差し込みます。

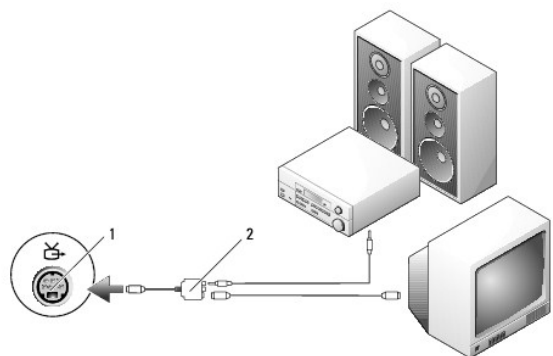
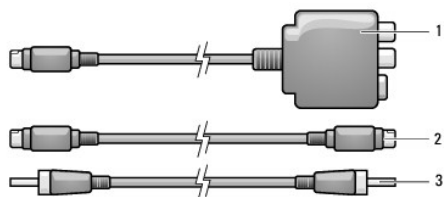
3. S ビデオケーブルのもう一方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。

4. コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を差し込みます。

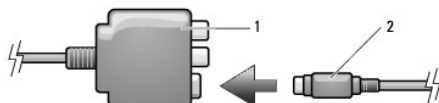
5. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

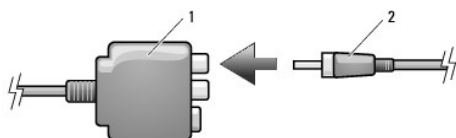
6. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

7. コンピュータがテレビを認識して、正常に動作することを確認するために、テレビの表示設定の有効化を参照してください。

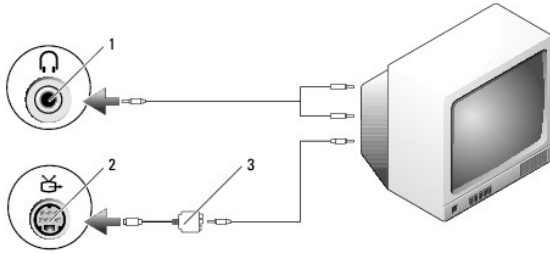
## S ビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ

| 1 | S ビデオ TV 出力コネクタ | 2 | コンポジットビデオアダプタ |
|---|---|---|---|

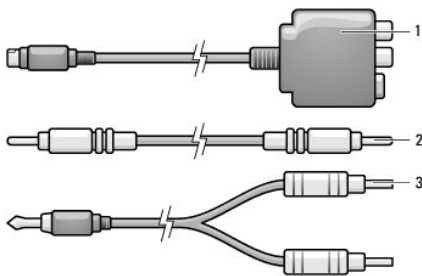
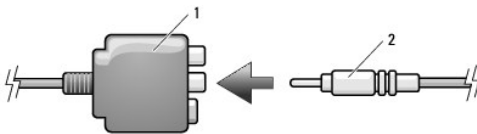
| 1 | コンポジットビデオアダプタ | 2 | S ビデオケーブル | 3 | S/PDIF デジタルオーディオケーブル |
|---|---|---|---|---|---|

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. コンポジットビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3. S ビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタの S ビデオ出力コネクタに差し込みます。

| 1 | コンポジットビデオアダプタ | 2 | S ビデオケーブル |
|---|---|---|---|

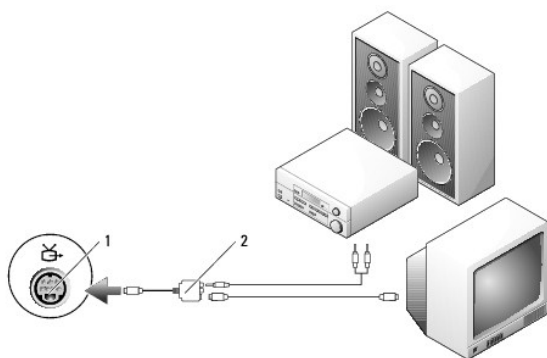
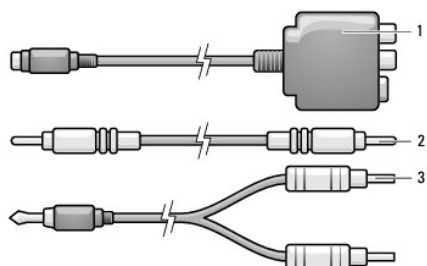
4. S ビデオケーブルのもう一方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。
5. S/PDIF デジタルオーディオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタケーブルのデジタルオーディオコネクタに差し込みます。

| 1 | コンポジットビデオアダプタ | 2 | S/PDIF デジタルオーディオケーブル |
|---|---|---|---|

6. S/PDIF デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を、テレビまたはオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
7. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
8. コンピュータがテレビを認識して、正常に動作することを確認するために、テレビの表示設定の有効化を参照してください。

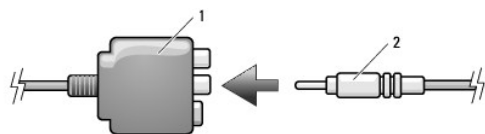
## コンポジットビデオおよび標準オーディオ

| 1 | オーディオ入力コネクタ | 2 | S ビデオ TV 出力コネクタ |
|---|---|---|---|
| 3 | コンポジットビデオアダプタ | | |

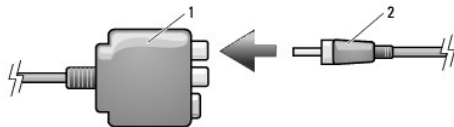
| 1 | コンポジットビデオアダプタ | 2 | コンポジットビデオケーブル |
|---|---|---|---|
| 3 | 標準オーディオケーブル | | |

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. コンポジットビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3. コンポジットビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタのコンポジットビデオ出力コネクタに差し込みます。

| 1 | コンポジットビデオアダプタ | 2 | コンポジットビデオケーブル |
|---|---|---|---|

4. コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
5. コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いているオーディオケーブルの端を差し込みます。
6. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
7. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス(該当する場合)の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
8. コンピュータがテレビを認識して、正常に動作することを確認するために、テレビの表示設定の有効化を参照してください。

## コンポジットビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ

| 1 | S ビデオ TV 出力コネクタ | 2 | コンポジットビデオアダプタ |
|---|---|---|---|

| 1 | コンポジットビデオアダプタ | 2 | コンポジットビデオケーブル |
|---|---|---|---|
| 3 | 標準オーディオケーブル | | |

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. コンポジットビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3. コンポジットビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。

| 1 | コンポジットビデオアダプタ | 2 | コンポジットビデオケーブル |
|---|---|---|---|

4. コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
5. S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、コンポジットビデオアダプタの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。

| 1 | コンポジットビデオアダプタ | 2 | S/PDIF デジタルオーディオケーブル |
|---|---|---|---|

6. デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF 入力コネクタに差し込みます。

7. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8. コンピュータがテレビを認識して、正常に動作することを確認するために、テレビの表示設定の有効化を参照してください。

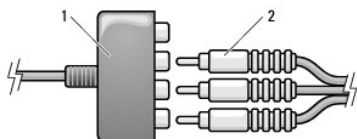
## コンポーネントビデオおよび標準オーディオ

| 1 | S ビデオ TV 出力コネクタ | 2 | コンポーネントビデオアダプタ |
|---|---|---|---|

| 1 | コンポーネントビデオアダプタ | 2 | コンポーネントビデオケーブル |
|---|---|---|---|
| 3 | 標準オーディオケーブル | | |

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2. コンポーネントビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

3. コンポーネントビデオケーブルの 3 つの末端すべてを、コンポーネントビデオアダプタのコンポーネントビデオ出力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤色、緑色、青色）が対応するアダプタポートと一致していることを確認してください。

| 1 | コンポーネントビデオアダプタ | 2 | コンポーネントビデオケーブル |
|---|---|---|---|

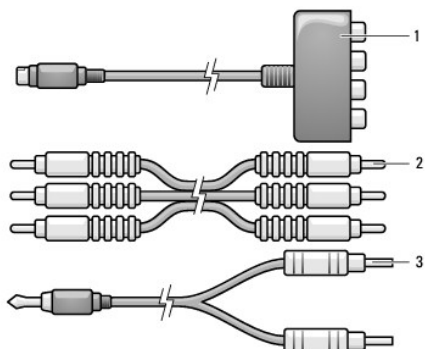
4. コンポーネントビデオケーブルのもう一方の端にある 3 つのコネクタすべてを、テレビのコンポーネントビデオ入力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤色、緑色、青色）がテレビの入力コネクタの色と一致していることを確認してください。

5. コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いているオーディオケーブルの端を差し込みます。

6. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたはオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

7. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

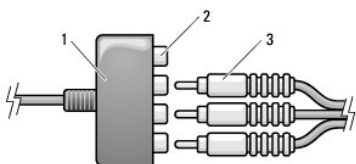
8. コンピュータがテレビを認識して、正常に動作することを確認するために、テレビの表示設定の有効化を参照してください。

## コンポーネントビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ

| 1 | S ビデオ TV 出力コネクタ | 2 | コンポーネントビデオアダプタ |
|---|---|---|---|

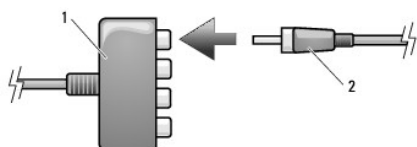
| 1 | コンポーネントビデオアダプタ | 2 | コンポーネントビデオケーブル |
|---|---|---|---|
| 3 | 標準オーディオケーブル | | |

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2. コンポーネントビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

3. コンポーネントビデオケーブルの 3 つの末端すべてを、コンポーネントビデオアダプタのコンポーネントビデオ出力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤色、緑色、青色）が対応するアダプタポートと一致していることを確認してください。

| 1 | コンポーネントビデオアダプタ | 2 | コンポーネントビデオ出力コネクタ |
|---|---|---|---|
| 3 | コンポーネントビデオケーブル | | |

4. コンポーネントビデオケーブルのもう一方の端にある 3 つのコネクタすべてを、テレビのコンポーネントビデオ入力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤色、緑色、青色）がテレビの入力コネクタの色と一致していることを確認してください。

5. S/PDIF デジタルオーディオケーブルの一方の端を、コンポーネントビデオアダプタの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。

| 1 | コンポーネントビデオアダプタ | 2 | S/PDIF デジタルオーディオケーブル |
|---|---|---|---|

6. デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF 入力コネクタに差し込みます。

7. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8. コンピュータがテレビを認識して、正常に動作することを確認するために、テレビの表示設定の有効化を参照してください。

### S/PDIF デジタルオーディオの有効化

1. Windows のタスクトレイでスピーカーアイコンをダブルクリックします。

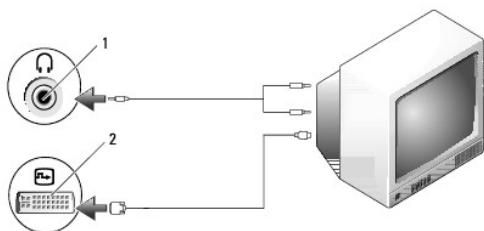
2. **オプション** メニューをクリックしてから、**トーン調整** をクリックします。

3. **トーン** をクリックします。

4. **S/PDIF インタフェース** をクリックします。

5. **閉じる** をクリックします。

6. **OK** をクリックします。

## DVI-HDMI および標準オーディオ

| 1 | オーディオコネクタ | 2 | DVI コネクタ |
|---|---|---|---|

| 1 | DVI コネクタ | 2 | HDMI コネクタ |
|---|---|---|---|

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. DVI-HDMI アダプタケーブルの DVI 側の端を、コンピュータの DVI-I コネクタに差し込みます。
3. DVI-HDMI アダプタケーブルのもう一方の端を、テレビの HDMI コネクタに差し込みます。
4. コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を差し込みます。
5. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
6. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
7. コンピュータがテレビを認識して、正常に動作することを確認するために、テレビの表示設定の有効化を参照してください。

## テレビの表示設定の有効化

**メモ:** ディスプレイオプションが正しく表示されるようにするには、ディスプレイ設定を有効にする前に TV をコンピュータに接続してください。

### Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** を選択して、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **画面** をダブルクリックして、**設定** タブをクリックします。
3. **トーン** をクリックします。
4. お使いのビデオカードのタブをクリックします。

   **メモ:** お使いのコンピュータに内蔵されているビデオカードのタイプを確認するには、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**スタート**→ **ヘルプとサポート** をクリックします。**作業を選びます** で、**ツールを使ってコンピュータ情報を表示し、問題を診断する** をクリックします。次に、**マイコンピュータの情報** で **ハードウェア** を選択します。

5. 表示デバイスの項で、シングルディスプレイまたはマルチディスプレイのいずれを使用するか、該当するオプションを選択し、画面設定が選択内容に対して正しいことを確認します。

### Windows Vista

1. Windows Vista Start（スタート）ボタン 、**Control Panel**（コントロールパネル）、**Appearance and Personalization**（デスクトップのカスタマイズ）の順にクリックします。

2. **Personalization**（カスタマイズ）で、**Adjust Screen Resolution** （画面の解像度を調整）をクリックします。

**Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウが表示されます。

3. **Advanced**（トーン）をクリックします。

4. お使いのビデオカードのタブをクリックします。

**メモ:** お使いのコンピュータに内蔵されているビデオカードのタイプを確認するには、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。Windows Vista でヘルプとサポートセンターにアクセスするには、Windows Vista Start（スタート）ボタン → **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします。**Pick a Task**（作業を選びます）で、**Use Tools to view your computer information and diagnose problems**（ツールを使ってコンピュータ情報を表示し、問題を診断する）をクリックします。次に、**My Computer Information**（マイコンピュータの情報）で **Hardware**（ハードウェア）を選択します。

5. 表示デバイスの項で、シングルディスプレイまたはマルチディスプレイのいずれを使用するか、該当するオプションを選択し、画面設定が選択内容に対して正しいことを確認します。

---

目次に戻る

目次に戻る

# 部品の増設および交換

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## 作業を開始する前に

本章では、コンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」（コンピュータの電源を切るを参照）と「コンピュータ内部の作業を始める前に」（コンピュータ内部の作業を始める前にを参照）の手順をすでに終えていること。
- Dell™ 『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。
- コンポーネントを交換するか別途購入している場合、取り外し手順と逆の順番で取り付けができること。

### 奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- 細めのプラスチックスクライブ
- フラッシュ BIOS のアップデートプログラム（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** を参照）

### コンピュータの電源を切る

**注意:** データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。

   Windows® XP:

   **スタート**→ **シャットダウン**→ **シャットダウン** とクリックします。

   Windows Vista™:

   Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックし、Start（スタート）メニューの右下隅の矢印（下図参照）をクリックして、**Shut Down**（シャットダウン）をクリックします。

   オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。

2. コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 8～10 秒以上押し続けて、コンピュータの電源を切ります。

### コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**警告: 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。**

**注意:** デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

**注意:** ケーブルを外すときは、コネクタを持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。

**注意:** 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面(コンピュータの背面にあるコネクタなど)に触れたりして、静電気を除去します。

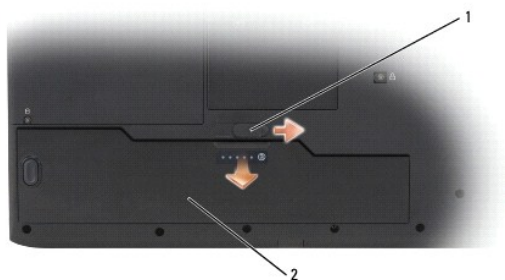
**注意:** コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源を切るを参照してください。

**注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからケーブルのプラグを外し、次に壁のネットワークジャックからプラグを外します。

3. ネットワークケーブルをすべてコンピュータから外します。
4. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。

**注意:** システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータを修理する前にバッテリを取り外してください。

5. バッテリを取り外します。コンピュータの底面にあるバッテリベイリリースラッチをスライドさせたまま、バッテリをバッテリベイから取り外します。

| 1 | バッテリベイリリースラッチ | 2 | バッテリ |
|---|---|---|---|

6. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
7. インストールした ExpressCard はすべてスロットから取り外します。

---

## ハードディスクドライブ

**警告: ドライブがまだ熱いうちにハードディスクドライブをコンピュータから取り外す場合は、ハードディスクドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。**

**警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全に関する指示に従ってください。**

**注意:** データの損失を防ぐため、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードディスクドライブを取り外さないでください。

**注意:** ハードディスクドライブはとても壊れやすく、わずかな衝撃でも破損することがあります。

**メモ:** デルでは、デル製以外のハードディスクドライブの互換性の保証やサポートは行っていません。

お使いのコンピュータには、最大 2 台のハードディスクドライブを搭載できます。ハードディスクドライブは、ドライブケージの **0** および **1** というラベルの付いたトレイに取り付けられます。このケージは、ハードディスクドライブベイに取り付けられます。ハードディスクドライブを交換する、または 2 台目のハードディスクドライブを取り付ける場合、最初にハードディスクドライブベイからドライブケージを取り外す必要があります。

### ドライブケージの取り外し

1. 作業を開始する前にの手順に従って操作します。

2. コンピュータを裏返し、ハードディスクドライブカバーの 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。

| 1 | ネジ（2） |
|---|---|

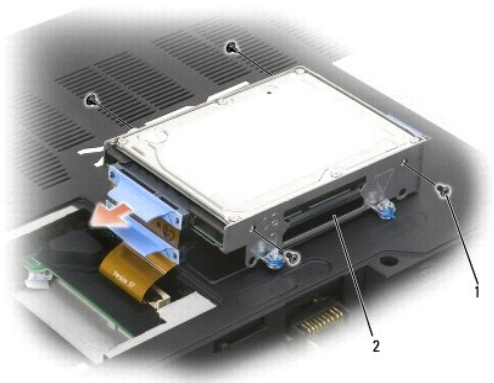
3. ドライブケージの 4 本のネジを緩めてから、プルタブを持ち上げてケージをコンピュータの中心方向に反転させて SATA ケーブルおよびコネクタに手が届くようにします。

| 1 | ネジ（4） |
|---|---|

4. ケージに取り付けられているすべてのハードディスクドライブから SATA ケーブルを慎重に外します。

## ドライブケージ内のハードディスクドライブの取り付け

1. ドライブケージの両側から 2 本のネジを外してハードディスクドライブが動くようにし、ケージのトレイからハードディスクドライブを取り出します。

**注意:** ハードディスクドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『製品情報ガイド』の「静電気障害への対処」を参照してください。

| 1 | ネジ | 2 | ドライブケージ |
|---|---|---|---|

2. 新しいハードディスクドライブを梱包から取り出します。

   ハードディスクドライブを保管するためや配送のために、梱包を保管しておいてください。

3. 新しいハードディスクドライブをドライブケージトレイに置き、2 本のネジで両側を固定します。

   a. ハードディスクドライブを取り付けます。この時、製造元のラベルがドライブケージの底面側、SATA コネクタがケージの開口側になるようにします。

   b. プライマリハードディスクドライブを **0** というラベルが付いたトレイに取り付けます。セカンダリハードディスクドライブは、**1** というラベルがついたトレイに取り付けることができます。

## ドライブケージの取り付け

1. SATA コネクタとケーブルの位置を合わせ、コンピュータの底面にドライブケージを裏返しに置いて、ハードディスクドライブのコネクタにケーブルをしっかり押し込みます。

2. ドライブケージを反転させ、ハードディスクドライブベイにはめ込みます。

3. ドライブケージのネジを締めます。

4. ハードディスクドライブカバーを取り付けて、ネジを締めます。

5. プライマリハードディスクドライブをプリイメージされていない新しいハードディスクドライブに交換した場合は、お使いのコンピュータのオペレーティングシステムおよびドライバをインストールしてください。お使いのオペレーティングシステムの復元およびドライバとユーティリティの再インストールを参照してください。

---

## メモリ

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、仕様を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

**メモ:** デュアルチャネル帯域幅の機能を活かすには、両方のメモリスロットを使用し、メモリサイズを一致させる必要があります。

**メモ:** デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証範囲に含まれます。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』にある安全手順に従ってください。**

**注意:** 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面(コンピュータの背面にあるコネクタなど)に触れたりして、静電気を除去します。

**注意:** システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にバッテリを取り外してください。

1. 作業を開始する前にの手順に従って操作します。

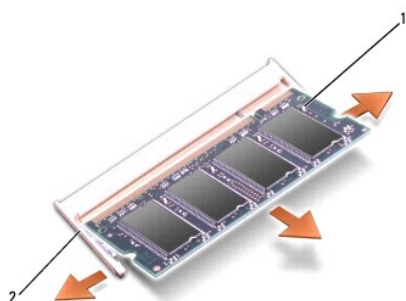
2. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

   **メモ:** 作業場を離れた後、コンピュータに戻る際には再び静電気を除去してください。

3. コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーのネジを緩めて、カバーを取り外します。

| 1 | ネジ（2） | 2 | メモリモジュールカバー |
|---|---|---|---|

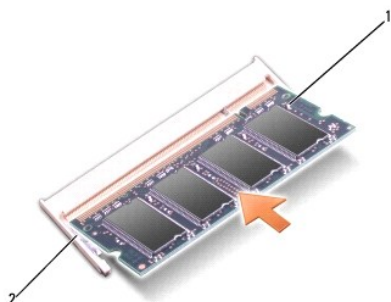
**注意:** メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

4. メモリモジュールを交換する場合は、既存のモジュールを取り外します。
   a. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
   b. モジュールをコネクタから取り外します。

| 1 | メモリモジュール | 2 | 固定クリップ |
|---|---|---|---|

**注意:** メモリモジュールを 2 つのコネクタに取り付ける必要がある場合、メモリモジュールは、まず「DIMMA」のラベルの付いているコネクタに取り付け、次に「DIMMB」のラベルの付いているコネクタに取り付けます。コネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールは 45 度の角度で差し込んでください。

5. 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。

   **メモ:** メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

   a. モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。
   b. モジュールを 45 度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。

| 1 | メモリモジュール | 2 | 固定クリップ |
|---|---|---|---|

6. メモリモジュールカバーを取り付けます。

**注意:** カバーが閉まりにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

7. バッテリをバッテリベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

8. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。プロンプトが表示されたら、<F1> を押して続行します。

コンピュータに取り付けられたメモリの容量を確認します。

- Windows® XP
  - デスクトップのマイコンピュータアイコンを右クリックし、**プロパティ**→ **全般** とクリックします。
- Windows Vista™
  - Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックして、**Computer**（コンピュータ）、**Properties**（プロパティ）とクリックします。

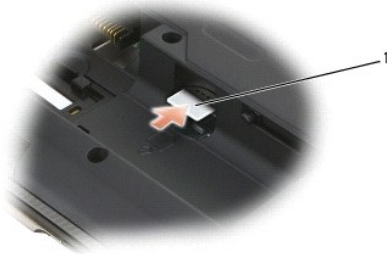
---

## SIM カード

SIM カードは、国際モバイル加入者識別により一意的にユーザを認証します。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**メモ:** SIM が必要なカードは、GSM（HSDPA）タイプのみです。EVDO カードでは、SIM を使用しません。

1. 作業を開始する前にの手順に従って操作します。
2. バッテリベイにある SIM 実装部の場所を確認します。
3. バッテリベイに示されているように SIM を実装部にスライドさせて差し込みます。

| 1 | SIM |
|---|---|

---

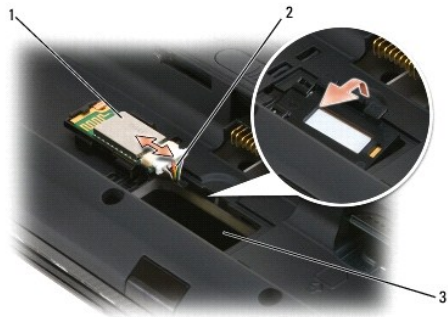
## Bluetooth™ ワイヤレステクノロジ内蔵カード

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

Bluetooth ワイヤレステクノロジのカードを購入された場合は、お使いのコンピュータにすでにインストールされています。Bluetooth ワイヤレステクノロジカードは、バッテリ実装部に装備されています。

1. 作業を開始する前にの手順に従って操作します。
2. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

   **メモ:** その場を離れた後、コンピュータに戻るときには再び静電気を除去してください。

3. カードをバッテリ実装部から引き出し、カードをケーブルから外してコンピュータから取り外します。

| 1 | Bluetooth™ ワイヤレステクノロジ内蔵カード | 2 | ケーブル |
|---|---|---|---|
| 3 | Bluetooth 実装部 | | |

4. カードを取り付けるには、カードをケーブルに接続してから、実装部に挿入します。

5. バッテリを取り付けます。

---

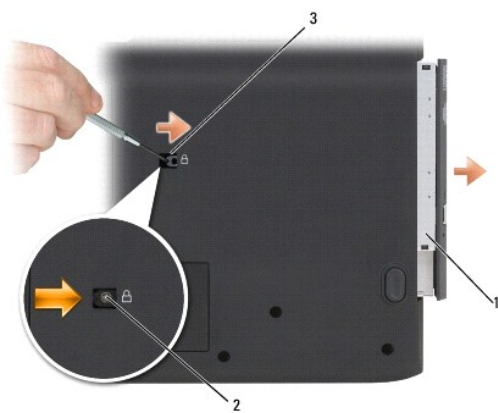
## 光学ドライブ

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

1. 作業を開始する前にの手順に従って操作します。

2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。

3. 光学ドライブ固定ネジを外します。

4. スクライブを切り込みに挿入して横に押し、ドライブをベイから取り出します。

| 1 | 光学ドライブ | 2 | 固定ネジ |
|---|---|---|---|
| 3 | 切り込み | | |

5. ドライブをスライドさせてベイから取り出します。

光学ドライブを取り付けなおすには、ドライブをドライブベイにスライドさせ、所定の位置にカチッと押し込みます。次に、光学デバイス固定ネジを取り付けます。

---

[目次に戻る]

# コンピュータのセキュリティ保護

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



## セキュリティケーブルロック

**メモ:** お使いのコンピュータには、セキュリティケーブルロックは付属していません。

セキュリティケーブルロックは、市販の盗難防止用品です。このロックを使用するには、Dell™ コンピュータのセキュリティケーブルスロットにロックを取り付けます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

**注意:** 盗難防止デバイスを購入する前に、お使いのコンピュータのセキュリティケーブルスロットに対応するか確認してください。

## パスワード

パスワードはコンピュータへの不正なアクセスを防止します。パスワードの使用に際して、次のガイドラインに注意してください。

- 覚えやすく推測されにくいパスワードを選びます。例えば、家族やペットの名前をパスワードに使用しないようにします。
- パスワードは覚え書きしないことをお勧めします。覚え書きする場合は、必ずパスワードを安全な場所に保管してください。
- パスワードは他人と共有しないようにします。
- パスワードの入力を他人に見られないようにします。

**注意:** パスワードは、コンピュータやハードディスクドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするために、スマートカード、データ暗号化プログラム、または暗号化機能の付いた PC カードなどを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

Microsoft® Windows® オペレーティングシステムにある コントロールパネルの **ユーザーアカウント** オプションで、ユーザーアカウントを作成したりパスワードを変更します。ユーザーパスワードを作成すると、コンピュータに電源を入れる、またはロックを解除するたびにそのパスワードを入力する必要があります。2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

詳細に関しては、お使いの Windows マニュアルを参照してください。

[目次に戻る]

目次に戻る

# コンピュータのセットアップ

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## インターネットへの接続

**メモ:** ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、ワイヤレスモデム / ルーターまたはネットワーク接続、およびインターネットサービスプロバイダ（ISP）が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- DSL 接続は、既存の電話線または携帯電話サービスを経由して高速インターネットアクセスを提供します。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。
- 衛星モデム接続は、衛星放送システムを経由して高速インターネットアクセスを提供します。
- ワイヤレス LAN 接続は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジを使用してインターネットアクセスを提供します。

**メモ:** DSL、ケーブル、または衛星モデム接続をご利用の場合、セットアップ手順について、ご利用の ISP、または携帯電話サービスプロバイダにお問い合わせください。

### インターネット接続のセットアップ

デスクトップ上にある既存の ISP のショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. Microsoft® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。
3. 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP アイコンが存在しない場合、または別の ISP でインターネット接続をセットアップする場合、次の項にある、ご利用のオペレーティングシステムに対応する手順を実行してください。

**メモ:** インターネットにうまく接続できない場合、E-メールおよびインターネットの問題を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

**メモ:** ご利用の ISP 情報が必要です。ISP 情報がわからない場合には、**インターネットの接続** ウィザードから情報を入手できます。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックして、**Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。
3. **Network and Internet**（ネットワークとインターネット）で、**Connect to the Internet**（インターネットの接続）をクリックします。

   **Connect to the Internet**（インターネットの接続）ウィンドウが表示されます。

4. **Wireless**（ワイヤレス）をクリックしてワイヤレス LAN / WWAN カードを設定し、インターネットに接続します。
5. 画面の指示に従い、ご利用の ISP より提供されるセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

---

## 新しいコンピュータへの情報の転送

オペレーティングシステム「ウィザード」を使って、たとえば、古いコンピュータから新しいコンピュータへ転送する場合のように、元のコンピュータから別のコンピュータへファイルやその他のデータを転送することができます。その手順については、お使いのコンピュータに搭載されているオペレーティングシステムに該当する以下の項を参照してください。

1. Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックし、**Transfer files and settings**（ファイルと設定を転送する）→ **Start Windows Easy Transfer**（Windows ファイルと設定の転送の開始）とクリックします。

2. **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ダイアログボックスで、**Continue**（続行）をクリックします。

3. **Start a new transfer**（新しい転送のスタート）あるいは **Continue a transfer in progress**（処理中の転送を続ける）をクリックします。

Windows Easy Transfer（Windows ファイルと設定の転送）ウィザードで画面に表示される手順に従います。

---

## プリンタのセットアップ

**注意:** オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続します。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートされたドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け

テクニカルサポートが必要な場合、プリンタのオーナーズマニュアルを参照するか、プリンタの製造元にお問い合わせください。

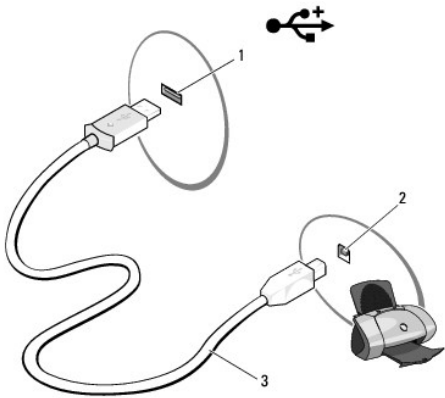
### プリンタケーブル

USB ケーブルまたはパラレルケーブルのどちらかを使って、プリンタをコンピュータに接続します。プリンタには、プリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタおよびコンピュータと互換性があることを確認してください。コンピュータと同時にプリンタケーブルを購入された場合には、コンピュータの梱包にケーブルが同梱されていることがあります。

### USB プリンタの接続

**メモ:** USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

1. オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。

2. コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。

| 1 | コンピュータの USB コネクタ | 2 | プリンタの USB コネクタ |
|---|---|---|---|
| 3 | USB プリンタケーブル | | |

3. プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

4. お使いのコンピュータのオペレーティングシステムによっては、プリンタドライバをインストールする、プリンタウィザードを使用できます。

   お使いのコンピュータで Windows Vista™ オペレーティングシステムを実行している場合、Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックし、**Network**（ネットワーク）→ **Add a printer**（プリンタの追加）をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。

5. 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。ドライバとユーティリティの再インストールおよび、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

# 電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ
- 無停電電源装置（UPS）

## サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクション機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

**注意:** ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

**注意:** すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから抜いてください。

## ラインコンディショナ

**注意:** ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

## 無停電電源装置（UPS）

**注意:** データをハードディスクドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

**メモ:** バッテリの最大駆動時間を確保するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクションの付いた別の電源タップに接続します。

UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリを備えています。 バッテリは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリの駆動時間についての情報、および装置が UL（Underwriters Laboratories）規格に適合しているか確認するには、UPS 製造元のマニュアルを参照してください。

目次に戻る

目次に戻る

# 仕様

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**

**メモ:** 仕様は、地域によって異なる場合があります。お使いのコンピュータの構成の詳細については、**スタート**→ **ヘルプとサポート** をクリックし、お使いのコンピュータについての情報を表示するオプションを選びます。

| **プロセッサ** | |
|---|---|
| プロセッサの種類 | Intel® Core™ 2 Duo プロセッサ<br><br>Intel® 45 nm Core™ 2 Duo プロセッサ |
| L1 キャッシュ | 64 KB |
| L2 キャッシュ | 2 MB または 4 MB（Intel Core 2 Duo プロセッサ）<br><br>6 MB（Intel 45 nm Core 2 Duo プロセッサ） |
| 外付けバスの周波数（フロントサイドバス） | 800 MHz（Intel Core 2 Duo プロセッサ）<br><br>1066 MHz（Intel 45 nm Core 2 Duo プロセッサ） |

| **システム情報** | |
|---|---|
| システムチップセット | モバイル Intel 965PM |
| データバス幅 | 64 ビット |
| DRAM バス幅 | デュアルチャネルバス |
| プロセッサアドレスバス幅 | 32 ビット |
| フラッシュ EPROM | 2 MB |
| PCI バス<br>（ビデオコントローラに使用される PCI Express） | 32 ビット<br>x16 |

| **ExpressCard** | |
|---|---|
| **メモ:** ExpressCard スロットは ExpressCard 専用に設計されています。PC カードはサポートしません。 | |
| ExpressCard コネクタ | ExpressCard スロット（54 mm）X 1<br><br>3.3 V および 1.5 V |
| サポートするカード | ExpressCard/34（34 mm）および ExpressCard/54（54 mm） |
| ExpressCard コネクタサイズ | 26 ピン |

| **メモリ** | |
|---|---|
| メモリモジュールコネクタ | ユーザーアクセス可能な SODIMM コネクタ× 2 |
| メモリモジュールの容量 | 512 MB、1 GB、2 GB、および 4 GB |
| メモリのタイプ | 1.8 V SODIMM DDR-II<br><br>最大 667 MHz の DDR-II をサポート |
| 最小メモリ | 1 GB（2 x 512 MB SODIMM DDR-II モジュールによる） |
| 最大搭載メモリ | 4 GB（2 x 2 GB SODIMM DDR-II モジュールによる） |
| **メモ:** デュアルチャネル帯域幅の機能を活かすには、両方のメモリスロットを使用し、メモリサイズを一致させる必要があります。 | |

| 8-in-1 メディアメモリカードリーダー | |
|---|---|
| 8-in-1 メディアメモリカードコントローラ | Ricoh R5C833 |
| 8-in-1 メディアメモリカードコネクタ | 8-in-1 コンボカードコネクタ |
| サポートするカード | SD<br>SDIO<br>マルチメディアカード（MMC）<br>メモリスティック<br>メモリスティック PRO<br>xD ピクチャカード<br>高速 SD<br>高密度 SD |

| ポートとコネクタ | |
|---|---|
| オーディオ | マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ× 2 |
| IEEE 1394a | パワードではない 4 ピンミニコネクタ |
| Consumer IR | Philips RC6 互換センサー（受信のみ） |
| ネットワークアダプタ | RJ-45 ポート |
| S ビデオ TV 出力 | 7 ピンミニ DIN コネクタ（コンポジットビデオアダプタケーブル対応 S ビデオおよびコンポーネントビデオアダプタケーブル対応 S ビデオはオプション） |
| USB | 4 ピン USB 2.0 対応コネクタ X 4 |
| デュアルリンク DVI-I（デジタルビデオインタフェース） | 29 ピンコネクタ |

| 通信 | |
|---|---|
| ネットワークアダプタ | システム基板上に 10/100/1000 Mbps Ethernet LAN |
| ワイヤレス | 内蔵 PCI-e ミニカードワイヤレス LAN および WWAN サポート、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードサポート |

| ビデオ | |
|---|---|
| **メモ:** お使いのコンピュータは、異なるビデオコントローラカードを備えた異なる構成で出荷されています。 | |
| ビデオコントローラ: | NVIDIA GeForce 8800 GS |
| ビデオタイプ | 外付けビデオアダプタ |
| データバス | PCI Express x16 |
| ビデオメモリ | 256 MB |
| LCD インタフェース | LVDS |
| テレビサポート | S ビデオ、コンポーネント、およびコンポジットモードでの NTSC または PAL |

| オーディオ | |
|---|---|
| オーディオタイプ | HDA（ハイ・デフィニッション・オーディオ）コーデック |
| ステレオ変換 | 24 ビット（デジタル変換、アナログ変換） |
| インタフェース: | |
| 内蔵 | HDA（ハイ・デフィニッション・オーディオ）バス |
| 外付け | マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ× 2 |
| スピーカー | 2 台の 18 mm トランスデューサ付きステレオ 8 オームメインスピーカー<br><br>Bluetooth スピーカーアダプタ |
| 内蔵スピーカーアンプ | チャネル毎 5 W クラス D ステレオ |

| | |
|---|---|
| ボリュームコントロール | プログラムメニュー、メディアコントロールボタン |
| オーディオコントローラ | Sigmatel STAC9228 ハイ・デフィニッション・オーディオコーデック |
| ヘッドフォン | Bluetooth ステレオヘッドフォン（オプション） |

| **メディア** | |
|---|---|
| ドライブ | DVD コンボ、DVD+RW、Blu-ray® |
| インタフェース | Roxio® Creator Plus®、<br>Dell MediaDirect™ 3.3 |

| **ディスプレイ** | |
|---|---|
| タイプ（アクティブマトリックス TFT） | WUXGA |
| 寸法： | |
| 縦幅 | 245.0 mm |
| 横幅 | 383.0 mm |
| 対角線 | 431.8 mm |
| 最大解像度 | 1920 x 1200 |
| リフレッシュレート | 60 Hz |
| 動作角度 | 0（閉じた状態）～ 142 |
| 可視角度（通常）： | |
| 水平方向 | ±60° |
| 垂直方向 | ±45° |
| ピクセルピッチ | 0.191 mm（17 インチディスプレイ） |
| 消費電力（バックライトのパネル）（標準）： | 7.54 W |
| コントロール | 輝度はショートカットキーによって調節可能 |

| **キーボード** | |
|---|---|
| キー数 | 101（アメリカ、カナダ）、88（ヨーロッパ）、91（日本） |
| レイアウト | QWERTY / AZERTY / 漢字 |
| タイプ | LED バックライト |

| **カメラ** | |
|---|---|
| ピクセル | 2.0 メガピクセル |
| ビデオ解像度 | 640x480 で 30 fps |
| 斜め可視角度 | 60° |

| **タッチパッド** | |
|---|---|
| X/Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード） | 240 cpi |
| 寸法： | |
| 横幅 | 73.0 mm のセンサー有効領域 |
| 縦幅 | 42.9 mm の長方形 |

| **バッテリ** | |
|---|---|

| タイプ | 9 セル「スマート」リチウムイオン |
|---|---|
| 寸法: | |
| 長さ | 88.5 mm |
| 縦幅 | 21.5 mm |
| 横幅 | 139.0 mm |
| 重量 | 0.48 kg（9 セル） |
| 電圧 | 10.8 VDC |
| 充電時間（概算）: | |
| 電源が切れている場合 | 4 時間（4 時間で 100％）<br><br>2 時間（2 時間で 80％） |
| 動作時間 | バッテリ駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。<br><br>バッテリ駆動時間の詳細については、バッテリの性能を参照してください。 |
| 寿命（概算） | 300 回（充電 / 放電） |
| 温度範囲: | |
| 動作時 | 0～35 ℃ |
| 保管時 | -40～65 ℃ |

| AC アダプタ | |
|---|---|
| 入力電圧 | 90～264 VAC |
| 入力電流（最大） | 3.2 A |
| 入力周波数 | 47～63 Hz |
| 出力電流 | 11.8 A（継続）、12.8A（4 秒パルスの時最大） |
| 出力電力 | 230 W |
| 定格出力電圧 | 19.5 VDC |
| 寸法: | |
| 縦幅 | 43 mm |
| 横幅 | 100 mm |
| 長さ | 200 mm |
| 重量（ケーブル含む） | 1.3 kg |
| 温度範囲: | |
| 動作時 | 0～40 ℃ |
| 保管時 | -40 ～65 ℃ |

| サイズと重量 | |
|---|---|
| 縦幅 | 50.8 mm |
| 横幅 | 406 mm |
| 長さ | 302 mm |
| 重量（9 セルバッテリおよび光学ドライブ搭載の場合） | 4.81 kg |

| 環境 | |
|---|---|
| 温度範囲: | |
| 動作時 | 0～35 ℃ |
| 保管時 | -40～65 ℃ |
| 相対湿度: | |
| 動作時 | 10～90 %（結露しないこと） |
| 保管時 | 5～95 %（結露しないこと） |
| 最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）: | |
| 動作時 | 0.66 GRMS |
| 保管時 | 1.3 GRMS |

| 最大衝撃（2 ミリ秒の正弦半波パルスで測定）: | |
| --- | --- |
| 動作時 | 143 G |
| 保管時 | 163 G |
| 高度（最大）: | |
| 動作時 | -15.2～3,048 m |
| 保管時 | -15.2～10,668 m |

---

目次に戻る

目次に戻る



# メモ、注意、警告

**メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

**注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

**警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。**



**2008 年 4 月　　P/N XU480　　Rev. A04**

目次に戻る

目次に戻る

# ノートブックコンピュータを携帯するときは

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



---

## コンピュータの識別

- コンピュータにネームタグまたはビジネスカードを取り付けます。
- サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり盗難に遭ったりした場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- Microsoft® Windows® のデスクトップに、**PC の所有者** というタイトルのファイルを作成します。このファイルに名前、住所、および電話番号などの情報を記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせて、ID タグコードを発行しているか確認します。

---

## コンピュータの梱包

- コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。取り付けられた PC カードに接続されているすべてのケーブルを外し、すべての拡張型 PC カードを取り外します。
- コンピュータをなるべく軽くするため、モジュールベイにあるすべてのデバイスを取り外して、Dell TravelLite™ モジュールを取り付けます。
- メインバッテリおよび携帯するすべての予備バッテリをフル充電します。
- コンピュータをシャットダウンします。
- AC アダプタを取り外します。

**注意:** ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合は、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 荷造りの際、コンピュータをシェービングクリームやコロン、香水、食べ物などと一緒に入れないでください。

**注意:** 低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1 時間程室温にならしてから電源を入れてください。

- コンピュータ、バッテリ、およびハードディスクドライブは、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

---

## 携帯中のヒントとアドバイス

**注意:** データ損失を防ぐため、光学ドライブを使用している間は、コンピュータを動かさないでください。

**注意:** コンピュータを荷物として預けないでください。

- バッテリ駆動時間を最大にするために、電力の管理のオプション設定を変更します。
- 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用権を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）が必要な場合があります。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商品パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
- 渡航先の国ではコンセントの形状がどのタイプなのか確認しておいて下さい。また、それに合ったパワーアダプターを携帯してください。
- クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

### 飛行機内での利用

**注意:** コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X 線探知機に通すか、手検査を依頼してください。

- 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリか、AC アダプタと電源ケーブルを携帯してください。
- 飛行機に搭乗する前に、コンピュータの使用が許可されていることを確認してください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

目次に戻る

# トラブルシューティング

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



## Dell テクニカル Update Service

デルテクニカルアップデートサービスは、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E-メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、**support.jp.dell.com / technicalupdate**（英語）にアクセスしてください。

## Dell Diagnostics（診断）プログラム

**警告:** **本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

### Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、フリーズおよびソフトウェアの問題にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

**メモ:** Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ上でのみ動作します。

セットアップユーティリティを起動し、コンピュータの設定情報を閲覧して、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します（セットアップユーティリティ画面を参照）。

Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードディスクドライブまたは『Drivers and Utilities』メディアから起動します（Drivers and Utilities メディアを参照）。

### Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードディスクドライブから起動する場合

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードディスクドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

**メモ:** コンピュータに画面が表示されない場合は、デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

1. コンピュータが、正確に動作することが確認されているコンセントに接続されていることを確認します。
2. コンピュータの電源を入れます（または再スタートします）。
3. Dell Diagnostics（診断）プログラムは、以下のいずれかの方法で起動します。
   a. DELL™ のロゴが表示されたらすぐに<F12> を押します。起動メニューから Diagnostics（診断）プログラムを選択し、次に <Enter> を押します。

   **メモ:** キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおします。

   **メモ:** オプション B を試す前に、コンピュータの電源を完全に切る必要があります。

   b. コンピュータが起動する間、<Fn> キーを押し続けます。

**メモ:** 診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合には、『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnositcs（診断）プログラムを実行します。

起動前システムアセスメントが実行され、システム基板、キーボード、ハードディスクドライブ、ディスプレイの初期テストが続けて実行されます。

- このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
- 問題が検出された場合は、コンピュータはビープ音を出して停止します。システムの評価を止めてオペレーティングシステムを再起動するには、<n> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
- 起動前システム評価の実行中に問題が検出された場合は、エラーコードを書き留め、デルにお問い合わせください。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue（Dell Diagnostics（診断）ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します）というメッセージが表示されます。

4. 任意のキーを押すと、ハードディスクドライブ上の診断プログラムユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムが起動します。

## Dell Diagnostics（診断）プログラムを Drivers and Utilities メディアから起動する場合

1. 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。
2. コンピュータをシャットダウンして、再起動します。
3. DELL のロゴが表示されたらすぐに<F12> を押します。

   **メモ:** 長時間キーボードのキーを押し続けると、キーボードエラーとなることがあります。予想されるキーボードエラーを避けるためには、起動デバイスメニューが表示されるまでの間、一定の間隔で <F12> を押したり離したりします。

4. 起動デバイスメニューで上下矢印キーを使い、**CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示して、次に <Enter> を押します。

   **メモ:** Quickboot 機能は、現在の起動順序だけを変更します。再起動の場合には、セットアップユーティリティで指定した起動順序に従って起動します。

5. 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、次に <Enter> を押します。
6. 1 と入力して Drivers and Utilities メニューを開始し、次に <Enter> を押します。
7. 番号の付いた一覧から **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。
8. Dell Diagnostics（診断）の **Main Menu** で、実行したいテストを選択します。

   **メモ:** エラーコードと問題の説明を画面の表示通りに正確に記録し、指示に従います。

9. すべてのテストが完了後、テストウィンドウを閉じて Dell Diagnostics （診断）プログラムの **Main Menu** に戻ります。
10. 『Drivers and Utilities』メディアを取り出し、Dell Diagnositics（診断）プログラムを終了するために **Main Menu** ウィンドウを閉じてから、コンピュータを再起動します。

## Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** 画面が表示されるので、必要なオプションのボタンをクリックします。

**メモ:** Test System を選択して、コンピュータを完全にテストすることをお勧めします。

| オプション | 機能 |
|---|---|
| Test Memory | スタンドアロンメモリテストを実行します。 |
| Test System | システム Diagnostics（診断）を実行します。 |
| Exit | Diagnostics（診断）を終了します。 |

メインメニューで Test System オプションを選択すると、次のメニューが表示されます。

**メモ:** 以下のメニューから Extended Test を選択し、コンピュータのデバイスの詳細な検証を実行することをお勧めします。

| オプション | 機能 |
| --- | --- |
| Express Test | システムデバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10～20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定する可能性が増します。 |
| Extended Test | システムデバイスの詳しいチェックを実行します。テストは通常1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。 |
| Custom Test | システムの特定のデバイスをテストします。実行したいテストをカスタマイズすることができます。 |
| Symptom Tree | 検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。 |

テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。 エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。 問題が解決できない場合は、デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**メモ:** 各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせになると、サービスタグを尋ねられますので、事前に確認しておいてください。

以下のタブは、**Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行するための追加情報を提供します。

| タブ | 機能 |
| --- | --- |
| Results | テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。 |
| Errors | 検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。 |
| Help | テストに関する内容とテストの実行要件を説明します。 |
| Configuration | 選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。<br><br>Dell Diagnostics（診断）プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。 |
| Parameters | テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。 |

## デルサポートユーティリティ

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされます。このユーティリティは、お使いのコンピュータのセルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、および状況スキャンに関する情報を提供します。このユーティリティを使用して以下のことを実行できます。

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポートユーティリティ設定の表示
- デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス
- よくあるお問い合わせ（FAQ）の表示
- デルサポートユーティリティの詳細の表示
- デルサポートユーティリティの終了

デルサポートユーティリティに関する詳細は、デルサポートウィンドウ上部の疑問符（**?**）をクリックしてください。

デルサポートユーティリティにアクセスするには、次の手順を実行します。

- タスクトレイにあるデルサポートアイコン をクリックします。

  **メモ:** アイコンの機能は、クリック、ダブルクリック、または右クリックした場合により異なります。

  または

- **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Dell Support**（デルサポート）→ **Dell Support Settings**（デルサポート設定）とクリックします。**Show icon on the taskbar**（タスクバーのアイコンを表示する）オプションがチェックされていることを確認します。

  **メモ: Start**（スタート）メニューからデルサポートユーティリティを利用できない場合は、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

## ドライブの問題

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**Microsoft® Windows® がドライブを認識しているか確認します —**

**Windows XP**

**スタート→ マイコンピュータ** をクリックします。

**Windows Vista™**

**Start**（スタート） → **Computer**（コンピュータ）をクリックします。

ドライブが表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

**ドライブをテストします —**

- 別のフロッピーディスク、CD、DVD、または BD を挿入して、元のメディアに不具合がないことを確かめます。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

**ドライブやディスクをクリーニングします —** コンピュータのクリーニングを参照してください。

**CD、DVD または BD メディアがスピンドルにきちんとはまっていることを確認します**

**ケーブルの接続を確認します**

**ハードウェアの非互換性を確認します —** Microsoft® Windows® XP および Microsoft Windows Vista™ オペレーティングシステムのソフトウェアおよびハードウェアに関するトラブルシューティングを参照してください。

**Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します —** Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

## 光学ドライブの問題

**メモ:** 高速光学ドライブの振動は、一般的なものでノイズを引き起こすこともありますが、ドライブやメディアの不具合ではありません。

**メモ:** 様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

### CD-RW、DVD+/-RW、または BD-RE ドライブへの書き込みの問題

**その他のプログラムを閉じます —** CD-RW、DVD+/-RW、および BD-RE ドライブでは、書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。ドライブに書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

**CD/DVD/BD ディスクへの書き込みを行う前に Windows のスリープ状態をオフにします —** スリープ状態に関しては、スタンバイおよびスリープモードを参照してください。

**書き込み処理速度を低く設定します —** CD、DVD、または BD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

### ドライブトレイが取り出せない

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2. クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
3. トレイが止まるまで慎重に引き出します。

### ドライブで聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

## ハードディスクドライブの問題

**コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます —** ハードディスクドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

**チェックディスクを実行します —**

**Windows XP**

1. **スタート**、**マイコンピュータ** の順にクリックします。
2. **ローカルディスク C:** を右クリックします。
3. **プロパティ**→ **ツール**→ **チェックする** をクリックします。
4. **不良セクターをスキャンして回復する** をクリックし、**開始** をクリックします。

**Windows Vista**

1. **Start**（スタート） 、**Computer**（コンピュータ）の順にクリックします。
2. **Local Disk C:**（ローカルディスク C:）を右クリックします。
3. **Properties**（プロパティ）→ **Tools**（ツール）→ **Check Now**（今チェックする）とクリックします。

   **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合には、システム管理者に問い合わせて、必要な処理を続けます。

4. 画面に表示される指示に従ってください。

---

## E-メールおよびインターネットの問題

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**Windows Mail のセキュリティ設定を確認します —** E-メールの添付ファイルを開けない場合、次の手順を実行します。

1. Windows Mail で、**Tools**（ツール）、**Options**（オプション）、 **Security**（セキュリティ）とクリックします。
2. **Do not allow attachments**（ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない）をクリックして、チェックマークを外します。

**インターネットへの接続を確認します**

インターネットサービスプロバイダへの申し込みが済んでいることを確認します。Windows Mail を開いた状態で、**File**（ファイル）をクリックします。**Work Offline**（オフライン作業）にチェックマークが付いている場合は、クリックしてチェックマークを外してからインターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

**コンピュータでスパイウェアをスキャンします —** コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。詳細に関しては、**support.jp.dell.com** にアクセスし、スパイウェアというキーワードを検索してください。

---

## エラーメッセージ

以下を確認しながら、 Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

**補助デバイスエラー —** タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで **Pointing Device** オプションを有効にします（セットアップユーティリティ画面を参照）。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**コマンド名またはファイル名が違います —** 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

**障害によりキャッシュが無効になりました —** マイクロプロセッサに内蔵の 1 次キャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**CD ドライブコントローラエラー —** CD ドライブにコンピュータからコマンドの応答がありません（ドライブの問題を参照）。

**データエラー —** ハードディスクドライブがデータを読み取ることができません（ドライブの問題を参照）。

**使用可能メモリ減少 —** メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（メモリを参照）。

**ディスク C: 初期化失敗 —** ハードディスクドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムのハードディスクドライブテストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**ドライブの準備ができていません —** 操作を続行する前に、ベイにはハードディスクドライブが必要です。ハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを取り付けます（ハードディスクドライブを参照）。

**PCMCIA カードの読み取りエラー —** コンピュータが、ExpressCard を認識できません。カードをもう一度挿入しなおすか、別のカードを挿入します（ ExpressCardを参照）。

**拡張メモリの容量が変更されています —** NVRAM に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。エラーが再度表示される場合は、デルにお問い合わせください（ デルへのお問い合わせを参照）。

**コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません —** ファイルサイズが大きすぎてコピーできないか、コピー先のディスク使用量がいっぱいでコピーできません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

**ファイル名には次の文字は使用できません: \ / : * ? " < > | —** これらの記号をファイル名に使用しないでください。

**Gate A20 エラー —** メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（メモリを参照）。

**一般的な障害 —** オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報（例えば `Printer out of paper`（プリンタの用紙がありません）など）が続きます。適切な処置を行います。

**ハードディスクドライブ設定エラー —** コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外し（ハードディスクドライブを参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けてからコンピュータを再起動します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Disk Drive** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**ハードディスクドライブコントローラエラー 0 —** ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外し（ハードディスクドライブを参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けてからコンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Disk Drive** テストを実行します（ Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**ハードディスクドライブエラー —** ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外し（ハードディスクドライブを参照）、コンピュータを CD から起動します。 次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けてからコンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Disk Drive** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**ハードディスクドライブ読み取りエラー —** ハードディスクドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外し（ハードディスクドライブ を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けてからコンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Disk Drive** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**起動用メディアを挿入します —** オペレーティングシステムは、起動用でないメディアでないフロッピーディスクや CD から起動しようとしています。起動用メディアを挿入してください。

**システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行してください —** システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティ内の対応するオプションを修正します（セットアップユーティリティ画面を参照）。

**キーボードクロックラインエラー —** 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Keyboard Controller** テストを実行します（ Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**キーボードコントローラエラー —** 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Keyboard Controller** テストを実行します（ Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**キーボードデータラインエラー —** 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Keyboard Controller** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**キーボードスタックキーエラー —** 外付けキーボードまたはキーパッドの、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Stuck Key** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**MediaDirect では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません —** Dell MediaDirect™ では、ライセンスファイルに対するデジタル権限管理（DRM）制限を検証できないので、ライセンスファイルを再生できません（Dell MediaDirect の問題を参照）。

**アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー —** メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（メモリを参照）。

**メモリの割り当てエラー —** 実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

**アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー —** メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（メモリを参照）。

**アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー —** メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（ メモリを参照）。

**アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 遇数ロジックエラー —** メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（ メモリを参照）。

**アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー —** メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（メモリ を参照）。

**起動デバイスがありません —** コンピュータがハードディスクドライブを見つけることができません。ハードディスクドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分（パーティション）されているか確認します。

**ハードディスクドライブにブートセクターがありません —** オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**タイマーチック割り込み信号がありません —** システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（ Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします —** 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

**オペレーティングシステムが見つかりません —** ハードディスクドライブを再インストールします（ハードディスクドライブを参照）。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**オプション ROM のチェックサムが違います —** オプション ROM のエラー。デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**必要な .DLL ファイルが見つかりません —** 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

**Windows XP**

1. **スタート→ コントロールパネル→ プログラムの追加と削除→ プログラムと機能** をクリックします。
2. 削除したいプログラムを選択します。
3. **アンインストール** をクリックします。
4. インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

**Windows Vista**

1. **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Programs**（プログラム）→ **Programs and Features**（プログラムと機能）をクリックします。
2. 削除したいプログラムを選択します。
3. **Uninstall**（アンインストール）をクリックします。

インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

**セクターが見つかりません —** オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードディスクドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードディスクドライブのファイル構造を調べます。手順に関しては、Windows Help and Support（Windows ヘルプとサポート）を参照してください（**Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします）。多くのセクターに障害がある場合データをバックアップして、ハードディスクドライブを再フォーマットします。

**シークエラー —** オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

**シャットダウンの失敗 —** システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**内部時計の電力低下 —** システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリを充電します。問題が解決しない場合には、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試み、次にすぐにプログラムを終了します（セットアップユーティリティ画面を参照）。メッセージが再表示される場合は、デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**内部時計の停止 —** システム設定をサポートする予備バッテリに、再充電が必要である可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリを充電します。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**時計が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください —** セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**Date** と **Time** オプションの設定を修正します（セットアップユーティリティ画面を参照）。

**タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました —** システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**プロテクトモードで予期せぬ割り込みあり —** キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Memory** テストおよび **Keyboard Controller** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**x:\ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません —** ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

**警告： バッテリが極めて低下しています —** バッテリの充電量が残りわずかです。バッテリを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または 休止状態 を有効にするか、コンピュータをシャットダウンします。

---

## ExpressCard の問題

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**ExpressCard をチェックします —** ExpressCard が正しくコネクタに挿入されているか確認します。

**Windows でカードが認識されているかを確認します —** Windows タスクバーにある **Safely Remove Hardware** （ハードウェアの安全な取り外し） アイコンをダブルクリックします。一部のカードでは、この機能がサポートされていません。カードがこの Windows 機能をサポートしている場合には、カードが一覧表示されます。

**デルから購入した ExpressCard に問題がある場合 —** デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。また、モバイルブロードバンド（WWAN）ExpressCard に関しては、モバイルブロードバンド（ワイヤレスワイドエリアネットワーク[WWAN]）を参照してください。

**デル以外から購入した ExpressCard に問題がある場合 —** ExpressCard 製造元にお問い合わせください。

---

## IEEE 1394 デバイスの問題

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —**

**Windows XP**

**スタート** 、**コントロールパネル** の順にクリックします。

1. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス→ システム→ システムのプロパティ→ ハードウェア→ デバイスマネージャ** とクリックします。

**Windows Vista**

1. **Start**（スタート） **→ Control Panel** （コントロールパネル）**→ Hardware and Sound** （ハードウェアとサウンド）とクリックします。
2. **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。

   IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

**デル製の IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —** デルまたは IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —** デルまたは IEEE1394 デバイスの製造元にお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

---

## キーボードの問題

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

各種のチェックを行いながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**メモ:** Dell Diagnostics（診断）プログラムまたはセットアップユーティリティが起動している場合は、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

## 外付けキーボードの問題

**メモ:** 外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

**キーボードケーブルを確認します —** コンピュータをシャットダウンしてから、キーボードケーブルを外し、損傷していないかを確認して、再度ケーブルをしっかりと接続します。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

**外付けキーボードを確認します —**

1. コンピュータをシャットダウンし、1 分間待ってから再度電源を入れます。
2. 起動ルーチン中にキーボードの Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock のライトが点灯していることを確認します。
3. Windows デスクトップから、**Start** （スタート） → **All Programs** （すべてのプログラム）→ **Accessories** （アクセサリ）→ **Notepad** （メモ帳）とクリックします。
4. 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

   これらの手順を確認ができない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

**外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します —**

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. 外付けキーボードを取り外します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップから、**Start** （スタート） → **All Programs** （すべてのプログラム）→ **Accessories** （アクセサリ）→ **Notepad** （メモ帳）とクリックします。
5. 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

   内蔵キーボードでは文字が表示されるが、外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**キーボードの診断テストを実行します —** Dell Diagnostics（診断）プログラムの **PC-AT Compatible Keyboards** テストを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。テストによって外付けキーボードの問題であると表示された場合、デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

## 入力時の問題

**テンキーパッドを無効にします —** 文字の代わりに数字が表示される場合、<Num Lk> を押して、テンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

---

# フリーズおよびソフトウェアの問題

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

## コンピュータが起動しない

**AC アダプタを確認します —** AC アダプタがコンピュータとコンセントにきちんと接続されていることを確認します。

## コンピュータの応答が停止した

**注意:** オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

**コンピュータの電源を切ります —** キーボードを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合には、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切った後、再度起動します。

## プログラムの応答が停止するか、プログラムがクラッシュを繰り返す

**プログラムを終了します —**

1. <Crtl><Shift><Esc> を同時に押します。
2. **Applications** （アプリケーション）タブをクリックし、反応しなくなったプ ログラムを選択します。
3. **End Task** （タスクの終了）をクリックします。

**メモ:** コンピュータを再起動したときに chkdsk プログラムが実行されることがあります。画面に表示される指示に従ってください。

**プログラムのマニュアルを参照します —** 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。 通常、ソフトウェアのインストールの手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

## プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム向けに設計されている

**プログラム互換性ウィザードの実行**

**Windows XP**

プログラム互換性ウィザードは、XP 以外のオペレーティングシステム環境に似た環境で動作できるよう、プログラムを構成します。

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **プログラム互換性ウィザード**→ **次へ** とクリックします。
2. 画面に表示される指示に従ってください。

**Windows Vista**

プログラム互換性ウィザードは、Windows Vista 以外のオペレーティングシステム環境に似た環境で動作できるよう、プログラムを構成します。

1. **Start** （スタート） → **Control Panel** （コントロールパネル）→ **Programs** （プログラム）→ **Use an older program with this version of Windows** （古いプログラムをこのバージョンの Windows で使用）とクリックします。
2. ようこそ画面で **Next**（次へ）をクリックします。

画面に表示される指示に従ってください。

## 画面が青色（ブルースクリーン）になった

**コンピュータの電源を切ります —** キーボードを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合には、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切った後、再度起動します。

## Dell MediaDirect の問題

**Dell MediaDirect ヘルプファイルで情報をチェックします —** **Help**（ヘルプ）メニューを使用して、Dell MediaDirect ヘルプにアクセスします。

**Dell MediaDirect で映画を再生するには、DVD ドライブと Dell DVD Player が必要です —** コンピュータと一緒に DVD ドライブを購入した場合、このソフトウェアはすでにインストールされています。

**ビデオの品質上の問題 —** **Use Hardware Acceleration**（ハードウェアアクセラレーションを使う）オプションをオフにします。この機能は、DVD や特定タイプのビデオファイルを再生するときに、一部のグラフィックスカードの特別な処理を利用して、プロセッサ要件を軽減します。

**一部のメディアファイルを再生できない —** Dell MediaDirect では、Windows オペレーティングシステム環境外のメディアファイルへのアクセスが可能であるため、ライセンス付きコンテンツへのアクセスが制限されています ライセンス付きコンテンツとは、デジタル権限管理（DRM）が適用されるデジタルコンテンツです。Dell MediaDirect 環境では、DRM 制限を検証できないので、ライセンス付きファイルを再生できません。ライセンス付きのミュージックファイルやビデオファイルには、その横に錠のアイコンが付いています。Windows オペレーティングシステム環境では、ライセンス付きファイルにアクセスできます。

**暗すぎるシーンや明るすぎるシーンがある映画のカラー設定の調節 —** **EagleVision** をクリックして、ビデオ拡張機能テクノロジを使用します。この機能により、ビデオコンテンツが検知され、輝度、コントラスト、および彩度の比率が動的に調節されます。

**注意:** ハードディスクドライブを自発的に再フォーマットした場合は、Dell MediaDirect 機能を再インストールできません。サポートについては、デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

## その他のソフトウェアの問題

**トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —**

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。 詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

**すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します**

**ウイルススキャンプログラムを使って、ハードディスクドライブ、フロッピーディスク または CD を確認します**

**開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします**

**コンピュータでスパイウェアをスキャンします —** コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。 詳細に関しては、**support.jp.dell.com** にアクセスし、スパイウェアというキーワードを検索してください。

**Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します —** すべてのテストが正常に終了した場合、不具合はソフトウェアの問題に関連しています（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

---

## メモリの問題

以下を確認しながら、 Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —**

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、メモリを増設します（メモリを参照）。
- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（メモリを参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

**その他の問題が発生する場合 —**

- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（メモリを参照）。

- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（メモリを参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照）。

---

## ネットワークの問題

以下を確認しながら、 Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**ネットワークケーブルのコネクタを確認します —** ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

**ネットワークコネクタのネットワークライトを確認します —** ライトが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えてください。

**コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします**

**ネットワークの設定を確認します —** ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

## モバイルブロードバンド（ワイヤレスワイドエリアネットワーク[WWAN]）

**メモ:** Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドと、モバイルブロードバンド ExpressCard のユーザーズガイドは、Windows Help and Support（Windows ヘルプとサポート）から利用できます（ **Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします）。Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドは、**support.jp.dell.com** からもダウンロードできます。

**メモ:** コンピュータに Dell WWAN デバイスが取り付けられている場合には、タスクトレイに アイコンが表示されます。ユーティリティを始動するには、このアイコンをダブルクリックします。

**モバイルブロードバンド ExpressCard をアクティブにします —** ネットワークに接続する前に、モバイルブロードバンド ExpressCard をアクティブにする必要があります。タスクトレイの アイコンにマウスを合わせると、接続のステータスが確認できます。カードがアクティブでない場合、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティにある、カードをアクティブにする手順に従ってください。このユーティリティにアクセスするには、画面右下隅のタスクバーにある アイコンをダブルクリックします。 お使いの ExpressCard が デル製のカードでない場合は、お使いのカードの製造元の手順を参照してください。

**Dell Mobile Broadband Card Utility でネットワーク接続状態を確認します —** アイコンをダブルクリックして、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを始動します。メインウィンドウでステータスを確認します。

- **No card detected** （カードを検出できませんでした）- コンピュータを再スタートして、もう一度 Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを始動してください。
- **Check your WWAN service** （お使いの WWAN サービスを確認してください） - お使いのセルラーサービスプロバイダにお客様のプランの適用範囲とサポートサービスを確認してください。

---

## 電源の問題

以下を確認しながら、 Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**電源ライトを確認します —** 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスリープ状態です。電源ボタンを押して スリープ状態 を終了します。電源ライトが点灯していない場合は、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

**メモ:** スリープ電源状態については、スタンバイおよびスリープモードを参照してください。

**バッテリを充電します —** バッテリが充電されていないことがあります。

1. バッテリを取り付けなおします。
2. AC アダプタをコンピュータとコンセントに接続して使用します。

3. コンピュータの電源を入れます。

**メモ:** バッテリ駆動時間（バッテリが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリを購入する必要がある場合もあります。

**バッテリステータスライトを確認します —** バッテリステータスライトが橙色に点滅または点灯している場合には、バッテリの充電が不足しているか、または充電されていません。 コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリステータスライトが青色と橙色に点滅している場合には、バッテリが高温になっているために充電できません。 コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリステータスライトが橙色に速く点滅している場合には、バッテリが不良の可能性があります。 デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照。）

**バッテリの温度を確認してください —** バッテリの温度が 0℃ 以下では、コンピュータは起動しません。

**コンセントを確認します —** 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**AC アダプタを確認します —** AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

**コンピュータを直接コンセントへ接続します —** 電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

**電気的な妨害を除去します —** コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

**電源のプロパティを調整します —** 電源管理の設定を参照してください。

**メモリモジュールを再度取り付けます —** コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします（メモリを参照）。

---

## プリンタの問題

以下を確認しながら、 Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**メモ:** プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

**プリンタのマニュアルを確認します —** プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

**プリンタの電源がオンになっていることを確認します**

**プリンタケーブルの接続を確認します —**

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかり接続されているか確認します。

**コンセントを確認します —** 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**Windows でプリンタを検出します —**

**Windows XP**

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **プリンタとその他のハードウェア**→ **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** とクリックします。

2. プリンタが一覧に表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。

3. **プロパティ→ ポート** とクリックします。パラレルプリンタの場合は、**印刷するポート:**の設定が **LPT1（プリンタポート）** に設定されていることを確認します。USB プリンタの場合は、**印刷するポート:**が **USB** に設定されていることを確認します。

**Windows Vista**

1. **Start** （スタート）→ **Control Panel** （コントロールパネル）→ **Hardware and Sound** （ハードウェアとサウンド）→ **Printer** （プリン タ）とクリックします。

2. プリンタが一覧に表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。

3. **Properties** （プロパティ）、**Ports** （ポート）の順にクリックします。

4. 必要に応じて、設定を調整します。

**プリンタドライバを再インストールします —** 再インストールの手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

---

# スキャナの問題

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

**メモ:** スキャナのテクニカルサポートについては、スキャナの製造元にお問い合わせください。

**スキャナのマニュアルを確認します —** スキャナのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナのマニュアルを参照してください。

**スキャナのロックを解除します —** お使いのスキャナのロックが解除されていることを確認します。

**コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます**

**ケーブルの接続を確認します —**

- ケーブル接続の詳細については、スキャナのマニュアルを参照してください。
- スキャナのケーブルがスキャナとコンピュータに確実に接続されているか確認します。

**Microsoft Windows がスキャナを認識しているか確認します —**

**Windows XP**

1. **スタート→ コントロールパネル→ プリンタとその他のハードウェア→ スキャナとカメラ** とクリックします。

2. お使いのスキャーナが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナを認識しています。

**Windows Vista**

1. **Start** （スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Scanners and Cameras**（スキャナとカメラ）とクリックします。

スキャナが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナを認識しています。

**スキャナドライバを再インストールします —** 手順については、スキャナに付属しているマニュアルを参照してください。

---

# サウンドおよびスピーカーの問題

以下を確認しながら、 Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

## 内蔵スピーカーから音が出ない場合

**Windows で音量を調節します —** 画面右下にある黄色のスピーカーのアイコンをダブルクリックして、音量つまみを調節してください。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

**キーボードのショートカットを使用して音量を調節します —** <Fn><End> を押して内蔵スピーカーを無効（ミュート）、または再び有効にします。

**サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします —** ドライバとユーティリティの再インストールを参照してください。

## 外付けスピーカーから音が出ない場合

**サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します —** スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

**Windows のボリュームコントロールを調節します —** 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

**ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します —** ヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

**コンセントを確認します —** 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**電気的な妨害を除去します —** コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

**オーディオドライバを再インストールします —** ドライバとユーティリティの再インストールを参照してください。

**Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します —** Dell Diagnostics（診断）プログラムを参照してください。

**メモ:** MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレイヤーの音量が十分か確認してください。

## ヘッドフォンから音が出ない場合

**ヘッドフォンのケーブル接続を確認します —** ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します。

**Windows で音量を調節します —** 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

---

# タッチパッドまたはマウスの問題

**タッチパッドの設定を確認します —**

**Windows XP**

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **プリンタとその他のハードウェア**→ **マウス** とクリックします。
2. 設定を調整します。

**Windows Vista**

1. **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Mouse**（マウス）とクリックします。
2. 必要に応じて、設定を調整します。

**マウスケーブルを確認します —** コンピュータをシャットダウンして、マウスケーブルを外し、障害があるかを確認してから、再度ケーブルをしっかりと接続します。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

**マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —**

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. マウスを外します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

   タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

**セットアップユーティリティの設定をチェックします —** セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します（コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します）。

**マウスコントローラをテストします —** ポインタの動きに影響を与えるマウスコントローラおよび、タッチパッドまたはマウスボタンの操作を確認するために、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Pointing Devices** テストグループにある **Mouse** テストを実行します。

**タッチパッドドライバを再インストールします —** ドライバとユーティリティの再インストールを参照してください。

---

## ビデオおよびディスプレイの問題

以下を確認しながら、 Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します。

**警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

### 画面に何も表示されない場合

**メモ:** お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニタをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

**バッテリを確認します —** コンピュータをバッテリで動作している場合は、充電されたバッテリの残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続してから、コンピュータの電源を入れます。

**コンセントを確認します —** 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**AC アダプタを確認します —** AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

**コンピュータを直接コンセントへ接続します —** 電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

**電源のプロパティを調整します —** Windows Help and Support（Windows ヘルプとサポート）でスリープというキーワードを検索します。

**画面モードを切り替えます —** コンピュータが外付けモニタに接続されている場合は、<Fn><F8> を押して画面モードをディスプレイに切り替えます。

## 画面が見にくい場合

**輝度を調節します —** <Fn> と上下矢印キーを押します。

**電気的な妨害を除去します —** コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

**コンピュータの向きを変えます —** 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

**Windows のディスプレイ設定を調節します —**

**Windows XP**

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **デスクトップの表示とテーマ** とクリックします。
2. 変更したいエリアをクリックするか、**画面** アイコンをクリックします。
3. **画面の色** と **画面の解像度** の設定を変更してみます。

**Windows Vista**

1. **Start** （スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Personalization**（カスタマイズ）→ **Display Settings**（ディスプレイの設定）とクリックします。
2. 必要に応じて、**Resolution**（解像度）と **Colors settings**（画面の色）を調整します。

**Video 診断テストを実行します —** エラーメッセージの表示がなく画面の問題が解決されず、画面の一部に何も表示されない場合には、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Video**（ビデオ）デバイスグループを実行します。次にデルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

**「エラーメッセージ」を参照してください —** エラーメッセージが表示される場合、エラーメッセージを参照してください。

## 画面の一部しか表示されない場合

**外付けモニタを接続します —**

1. コンピュータをシャットダウンして、外付けモニタをコンピュータに取り付けます。
2. コンピュータおよびモニタの電源を入れて、モニタの輝度とコントラストを調整します。

   外付けモニタが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください（デルへのお問い合わせを参照）。

---

# ドライバ

## ドライバとは?

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにはドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

**注意:** 『Drivers and Utilities』メディアには、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステム用のドライバが含まれていることがあります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

## ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

### Windows XP

1. **スタート**→ **コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス**、**システム** の順にクリックします。
3. **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックし、**デバイスマネージャ** をクリックします。

### Windows Vista

1. Windows Vista start（スタート）ボタン をクリックし、**Computer** （コンピュータ）を右クリックします。
2. **Properties**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）の順にクリックします。

**メモ: User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者のときは、**Continue**（続行）をクリックします。また システム管理者ではないときは、システム管理者に問い合わせて続行してください。

一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（**[!]**の付いた丸） が付いているかを確認します。デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（ドライバとユーティリティの再インストールを参照）。

## ドライバとユーティリティの再インストール

**注意:** デルサポートサイト **support.jp.dell.com** や『Drivers and Utilities』メディアでは、Dell コンピュータ向けに承認されているドライバが提供されています。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

### Windows デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合、Windows のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

**Windows XP**

1. **スタート**→ **マイコンピュータ**→ **プロパティ**→ **ハードウェア**→ **デバイスマネージャ** とクリックします。
2. 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
3. **ドライバ** タブ→ **ドライバのロールバック** とクリックします。

**Windows Vista**

1. Windows Vista start（スタート）ボタン をクリックし、**Computer** （コンピュータ）を右クリックします。
2. **Properties**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）の順にクリックします。

**メモ: User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合は、システム管理者に問い合わせて デバイスマネージャを起動します。

3. 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、 **Properties**（プロパティ）をクリックします。
4. **Drivers**（ドライバ）タブ→ **Roll Back Driver**（ドライバのロールバック）とクリックします。

デバイスドライバのロールバックで問題が解決されない場合、システムの復元（お使いのオペレーティングシステムの復元を参照）を使用して、新しいドライバがインストールされる前の稼動状態にコンピュータを戻します。

## Drivers and Utilities メディアの使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステムの復元（お使いのオペレーティングシステムの復元を参照）を使用しても問題が解決されない場合、『Drivers and Utilities』メディアからドライバを再インストールします。

1. Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。

   『Drivers and Utilities』メディアを初めて使用する場合には、ステップ 2 に進みます。そうでない場合には、ステップ 5 に進みます。

2. 『Drivers and Utilities』インストールプログラムが起動したら、画面のプロンプトの指示に従います。

   **メモ:** 通常、『Drivers and Utilities』プログラムが自動的に実行され始めます。実行されない場合、Windows エクスプローラを起動し、メディアドライブのディレクトリをクリックして、メディアの内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。

3. **InstallShield Wizard Complete**（InstallShield ウィザードの完了）ウィンドウが表示されたら、『Drivers and Utilities』ディスクを取り除き、**Finish**（終了）をクリックして、コンピュータを再起動します。

4. Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』ディスクを再び挿入します。

5. **Welcome Dell System Owner**（Dell システムをお買い上げくださりありがとうございます）画面で **Next**（次へ）をクリックします。

   **メモ:** 『Drivers and Utilities』プログラムでは、出荷時にお使いのコンピュータにインストールされたハードウェアのドライバのみを表示します。追加でハードウェアを取り付けた場合には、新しいハードウェア用のドライバは表示されないことがあります。それらのドライバが表示されない場合には、『Drivers and Utilities』プログラムを終了します 。ドライバの詳細に関しては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

   『Drivers and Utilities』プログラムがコンピュータのハードウェアを検出していることを示すメッセージが表示されます。

   コンピュータで使用されているドライバは、自動的に **My Drivers - The ResourceDVD has identified these components in your system**（マイドライバ - ResourceDVD は、これらのコンポーネントをシステム内で確認しました）ウィンドウに表示されます。

6. 再インストールするドライバをクリックし、画面の指示に従います。

   特定のドライバが一覧にない場合、そのドライバは、お使いのオペレーティングシステムでは必要ないということです。

## ドライバの手動インストール

**メモ:** お使いのコンピュータに Consumer IR ポートがあり、Consumer IR ドライバを再インストールしている場合には、ドライバのインストール（ドライバとユーティリティの再インストールを参照）を続行する前に、まずセットアップユーティリティ（ セットアップユーティリティ画面を参照）で Consumer IR ポートを有効にする必要があります。 お使いのコンピュータに取り付けられているコンポーネントについては、正面図を参照してください。

前項の説明に従って、お使いのハードディスクドライブにドライバファイルを解凍したら、次の手順を実行します。

**Windows XP**

1. **スタート**→**マイコンピュータ**→ **プロパティ**→ **ハードウェア**→ **デバイスマネージャ** とクリックします。
2. ドライバをインストールするデバイスのタイプ（ **オーディオ**、**ビデオ** など）をダブルクリックします。
3. インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
4. **ドライバ** タブ→ **ドライバの更新** とクリックします。
5. **一覧または特定の場所からインストールする（詳細）**→ **次へ** とクリックします。
6. **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
7. 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
8. **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

**Windows Vista**

1. Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックし、**Computer** （コンピュータ）を右クリックします。

2. **Properties**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）の順にクリックします。

**メモ: User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合は、システム管理者に問い合わせて デバイスマネージャを起動します。

3. ドライバをインストールするデバイスのタイプ（ **Audio**（オーディオ）、 **Video**（ビデオ）など）をダブルクリックします。

4. インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。

5. **Driver**（ドライバ）タブ → **Update Driver**（ドライバの更新）→ **Browse my computer for driver software**（コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します）をクリックします。

6. **Browse**（参照）をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。

7. 適切なドライバの名前が表示されたら、ドライバ名 → **OK**→ **Next**（次へ）とクリックします。

8. **Finish**（完了）をクリックして、コンピュータを再起動します。

---

## Microsoft® Windows® XP および Microsoft Windows Vista™ オペレーティングシステムのソフトウェアおよびハードウェアに関するトラブルシューティング

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違って設定されている場合、Windows Vista Help and Support（Windows Vista ヘルプとサポート）を使用して、非互換性を解決します。

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違って設定されている場合、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使用して非互換性を解決できます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングの開始方法

**Windows XP**

1. **スタート**→ **ヘルプとサポート** をクリックします。

2. 検索フィールドにハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、 <Enter> を押して検索を開始します。

3. **問題を解決する** の項で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。

4. **ハードウェアに関するトラブルシューティング** の一覧から、現在の不具合に最も近いオプションを選択し、**次へ** をクリックし、その後のトラブルシューティングの手順に従います。

**Windows Vista**

1. Windows Vista Start（スタート）ボタン をクリックし、**Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。

2. 検索フィールドに hardware troubleshooter（ハードウェアに関するトラブルシューティング） と入力し、<Enter> を押して検索を開始します。

3. 検索結果で、現在の不具合に最も近いオプションを選択し、残りのトラブルの解決手順に従います。

---

## お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft Windows Vista システムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、お使いのコンピュータを以前の状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。手順については、Microsoft Windows システムの復元の使い方を参照してください。
- Symantec の Dell PC リストア（Windows XP に付属）および Dell Factory Image Restore（Windows Vista に付属）は、ハードディスクドライブを、コンピュータを購入したときの稼動状態に復元します。いずれを使用する場合も、ハードディスクドライブのデータと、コンピュータの購入後にインストールされたプログラムはすべて削除されます。Dell PC リストアまたは Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決でない場合にのみ使用してください。
- お使いのコンピュータに『オペレーティングシステム』メディアが付属している場合、そのメディアを使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』メディアを使用すると、ハードディスクドライブ上のデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、このメディアを使用してください。手順については、オペレーティングシステムメディアの使い方を参照してください。

### Microsoft Windows システムの復元の使い方

Windows オペレーティングシステムは、システムの復元を提供しています。システムの復元を使って、ハードウェア、ソフトウェア、または他のシステム設定への変更が原因でコンピュータの動作

に不具合が生じた場合は、（データファイルに影響を与えずに）以前の稼動状態に戻すことができます。 システムの復元でコンピュータに行った変更はすべて元の状態へ完全に戻すことが可能です。

**注意:** データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。

**メモ:** このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell コンピュータを Windows クラシック表示に設定した場合は動作しない場合があります。

1. **Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。

2. 検索フィールドで System Restore（システムの復元）と入力し、次に <Enter> を押します。

   **メモ:** **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合には、システム管理者に問い合わせて、必要な処理を続けます。

3. **Next**（次へ）をクリックして、表示される画面の指示に従って残りの処理を行います。

システムの復元により不具合が解決しなかった場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことが可能です。

## システムの復元の起動

### Windows XP

**注意:** コンピュータを以前の稼動状態に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **システムツール**→ **システムの復元** とクリックします。

2. **コンピュータを以前の状態に復元する** または **復元ポイントの作成** をクリックします。

3. **次へ** をクリックして、表示される画面の指示に従って残りの処理を行います。

### Windows Vista

1. **Start**（スタート） をクリックします。

2. Start Search（検索の開始）ボックスで System Restore（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。

   **メモ:** **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合には、システム管理者に問い合わせて、必要な処理を続けます。

3. **Next**（次へ）をクリックして、表示される画面の指示に従って残りの処理を行います。

システムの復元により不具合が解決しなかった場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことが可能です。

## 最後に行ったシステムの復元の取り消し

**注意:** 最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

### Windows XP

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **システムツール**→ **システムの復元** とクリックします。

2. **以前の復元を取り消す** を選択して、**次へ** をクリックします。

### Windows Vista

1. **Start**（スタート） をクリックします。

2. Start Search（検索の開始）ボックスで System Rest（システムのリセット）と入力します。

## システムの復元の有効化

**メモ:** Windows Vista では、ディスク容量が少なくなっても、システムの復元は無効化されません。したがって、次の手順は Windows XP にのみ適用されます。

ハードディスクの空き容量が 200 MB 未満の状態で Windows XP をインストールすると、システムの復元は自動的に無効になります。

システムの復元が有効かどうかを確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **パフォーマンスとメンテナンス**→ **システム** とクリックします。
2. **システムの復元** タブをクリックし、**すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** のチェックが外されていることを確認します。

## Dell™ PC リストアおよび Dell Factory Image Restore の使い方

**注意:** Dell PC リストアまたは Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードディスクドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュータの購入後にインストールしたプログラムはすべて除去されます。これらのオプションを使用する前に、データのバックアップを作成してください。PC リストアまたは Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決でない場合にのみ使用してください。

**メモ:** 一部の国または特定のコンピュータでは、Symantec の Dell PC リストアおよび Dell Factory Image Restore を使用できない場合があります。

Dell PC リストア（Windows XP）または Dell Factory Image Restore（Windows Vista）は、オペレーティングシステムを復元する最後の手段として使用してください。これらのオプションによって、ハードディスクドライブはコンピュータを購入したときの稼動状態に復元されます。 コンピュータの購入後に追加したプログラムおよびファイルは、データファイルも含め、ハードディスクドライブから永久に削除されます。 データファイルには、ドキュメント、スプレッドシート、E-メールメッセージ、デジタル写真、音楽ファイルなどが含まれます。PC リストアまたは Factory Image Restore を使用する前に、データをバックアップします。

### Dell PC リストア

PC リストアの使い方

1. コンピュータの電源を入れます。

   起動プロセスで、画面上部の青いバーに **www.dell.com** と表示されます。

2. この青いバーが表示されたら、すぐに <Ctrl><F11> を押します。

   <Ctrl><F11> を押すのが遅れた場合は、コンピュータの起動が終了するのを待ち、コンピュータを再起動します。

**注意:** PC リストアでの作業を続けない場合は、**Reboot**（再起動）をクリックします。

3. **Restore**（復元）、**Confirm**（確認）とクリックします。

   復元プロセスを完了するには、約 6 ～ 10 分かかります。

4. プロンプトが表示されたら、**Finish**（完了）をクリックしてコンピュータを再起動します。

**メモ:** コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**Finish**（完了）をクリックし、コンピュータが完全に再起動するのを待ちます。

5. プロンプトが表示されたら **Yes**（はい）をクリックします。

   コンピュータが再起動します。コンピュータは初期の稼動状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。

6. **Next**（次へ）をクリックします。

   **System Restore**（システムの復元）画面が表示され、コンピュータが再起動します。

7. コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

### PC リストアの削除

**注意:** ハードディスクドライブから Dell PC リストアを削除すると、お使いのコンピュータから PC リストアユーティリティが永久に削除されます。一度削除すると、Dell PC リストアを使用してコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできなくなります。

Dell PC リストアは、ハードディスクドライブを、コンピュータを購入したときの稼動状態に復元します。ハードディスクドライブ領域を拡張するためであっても、PC リストアはコンピュータから削除しないことをお勧めします。 ハードディスクドライブから PC リストアを削除すると、二度と呼び出しできなくなり、PC リストアを使用してコンピュータのオペレーティングシステムを元の状態に復元することができなくなります。

1. ローカル管理者としてコンピュータにログオンします。

2. Microsoft Windows エクスプローラで **c:\dell\utilities\DSR** に移動します。

3. ファイル名 **DSRIRRemv2.exe** をダブルクリックします。

**メモ:** ローカル管理者としてログオンしていない場合、管理者としてログオンするよう指示するメッセージが表示されます。**Quit**（中止）をクリックし、ローカル管理者としてログオンします。

**メモ:** コンピュータのハードディスクドライブに PC リストアのパーティションがない場合、パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。**Quit**（中止）をクリックします。削除の対象となるパーティションはありません。

4. **OK** をクリックし、ハードディスクドライブの PC リストアパーティションを削除します。

5. 確認メッセージが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。

   PC リストアパーティションが削除され、新しく使用可能になったディスク領域がハードディスクドライブの空き容量に追加されます。

6. Windows エクスプローラで **Local Disk（C）**（ローカルディスク（C））、 **Properties**（プロパティ）の順にクリックし、増加した **Free Space**（空き容量）の値が示すとおり、使用可能なディスク領域が追加されていることを確認します。

7. **Finish**（終了）をクリックして **PC Restore Removal**（PC リストアの削除）ウィンドウを閉じ、コンピュータを再起動します。

### Windows Vista: Dell Factory Image Restore

1. コンピュータの電源を入れます。Dell のロゴが表示されたら <F8> を何回か押して、Vista Advanced Boot Options Window（Vista 詳細起動オプションウィンドウ）へアクセスします。

2. **Repair Your Computer**（コンピュータの修正）を選択します。

   System Recovery Options（システムリカバリオプション）ウィンドウが表示されます。

3. キーボードのレイアウトを選択し、**Next**（次へ）をクリックします。

4. リカバリオプションへアクセスするには、ローカルユーザーとしてログオンします。コマンドプロンプトにアクセスするには、User name（ユーザー名）フィールドに administrator と入力し、**OK** をクリックします。

5. **Dell Factory Image Restore** をクリックします。

   **メモ:** 設定によっては、**Dell Factory Tools**（Dell Factory ツール）を選択してから **Dell Factory Image Restore** を選択する必要がある場合があります。

   Dell Factory Image Restore のようこそ画面が表示されます。

6. **Next**（次へ）をクリックします。

   Confirm Data Deletion（データの削除の確認）画面が表示されます。

**注意:** Factory Image Restore で作業を続行しない場合は、**Cancel**（キャンセル）をクリックします。

7. ハードディスクドライブの再設定を続行し、出荷時のシステムソフトウェアを回復する確認をするチェックボックスをクリックし、**Next**（次へ）をクリックします。

   復元プロセスが完了するまでに、5 分以上かかる場合があります。オペレーティングシステムと工場出荷時インストールされたアプリケーションが出荷時の状態に回復されるとメッセージが表示されます。

8. **Finish**（完了）をクリックし、システムを再起動します。

## オペレーティングシステムメディアの使い方

### 作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、Windows デバイスドライバのロールバックを試してみます（Windows デバイスドライバのロールバックの使い方を参照）。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合は、システムの復元を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻します（Microsoft Windows システムの復元の使い方を参照）。

**注意:** インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードディスクドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。標準的なハードディスクドライブ構成において、プライマリハードディスクドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell『オペレーティングシステム』メディア
- Dell『Drivers and Utilities』メディア

**メモ:** 『Drivers and Utilities』メディアには、コンピュータの組立時にインストールされたドライバが入っています。『Drivers and Utilities』メディアを使って、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータに RAID コントローラがある場合には、そのドライバもロードします。

## Windows XP または Windows Vista の再インストール

再インストール処理を完了するには、1～2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

**注意:** 『オペレーティングシステム』メディアには、Windows XP を再インストールするオプションが収録されています。 このオプションは、ファイルを上書きし、ハードディスクドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『オペレーティングシステム』ディスクを挿入します。
3. `Install Windows`（Windows のインストール）のメッセージが表示されたら、**Exit**（終了）をクリックします。
4. コンピュータを再起動します。

   Dell のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

   **メモ:** キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおします。

   **メモ:** 次の手順では、起動順序を1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

5. 起動デバイス一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示し、<Enter> を押します。
6. いずれかのキーを押して **CD-ROM から起動** します。
7. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

---

目次に戻る

目次に戻る

# ネットワークのセットアップと使い方

**Dell™ XPS™ M1730 オーナーズマニュアル**



コンピュータネットワークを設定すると、お使いのコンピュータをインターネット、他のコンピュータあるいはネットワークへ接続できます。例えば、家庭または小規模オフィスで設定されたネットワークを通して共有プリンタへのプリンタ出力、他のコンピュータのドライブやファイルへのアクセス、他のネットワークの検索、またはインターネットへのアクセスなどができます。ネットワークケーブルまたはブロードバンドモデムケーブルを使用して、ローカルエリアネットワーク（LAN）またはワイヤレスLAN（WLAN）を設定することができます。

Microsoft® Windows® XP および Microsoft Windows Vista™ オペレーティングシステムでは、コンピュータをネットワークに接続する手順を示すウィザードが用意されています。ネットワーク設定の詳細については、Windows ヘルプとサポートセンター（Microsoft Windows XP および Windows Vista ヘルプとサポートセンターを参照）を参照してください。

## ネットワークまたはブロードバンドモデムケーブルの接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

1. ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

   **メモ:** ケーブルコネクタをカチッと所定の位置に収まるまで差し込み、次にケーブルを軽く引いて、ケーブルがしっかり取り付けられていることを確認します。

2. ネットワークケーブルのもう一方の端を、ネットワーク接続デバイスまたは壁のネットワークコネクタに接続します。

**メモ:** ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。

## ネットワークのセットアップ

### Windows XP

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **通信**→ **ネットワークセットアップウィザード**→ **次へ**→ **ネットワークセットアップウィザード** の順にクリックします。

   **メモ:** **インターネットに直接接続している** と表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 2（SP2）で提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

2. チェックリストを完了します。

3. ネットワークセットアップウィザードに戻り、ウィザードの指示に従います。

## Windows Vista

1. Windows Vista Start(スタート)ボタン をクリックして、**Connect To**(接続)→ **Set up a connection or network**(接続またはネットワークのセットアップ)とクリックします。
2. **Choose a connection option**(接続オプションの選択)でオプションを選択します。
3. **Next**(次へ)をクリックし、ウィザードの指示に従います。

---

# ワイヤレス LAN

ワイヤレス LAN(WLAN)は、ケーブルで接続されたコンピュータ間だけでなく、電波で相互通信し、一連の相互接続されたコンピュータです。ワイヤレス LAN では、アクセスポイントまたはワイヤレスルーターと呼ばれる無線通信デバイスがネットワークコンピュータ間を接続し、インターネットやネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターとコンピュータ内のワイヤレスネットワークカードは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

## ワイヤレス LAN 接続の設定に必要なもの

ワイヤレス LAN をセットアップするには、次のものが必要です。

- 高速(ブロードバンド)インターネットアクセス(ケーブルまたは DSL など)
- 接続済みで作動中のブロードバンドモデム
- ワイヤレスルーターまたはアクセスポイント
- ワイヤレスネットワークカード(ワイヤレス LAN に接続する各コンピュータに必要)

## お使いのワイヤレスネットワークカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがあるかどうかを確認し、カードのタイプを調べるには、次のいずれかを使用します。

- スタートボタンと **接続** オプション
- お使いのコンピュータの注文確認書

### スタートボタンと接続オプション

Microsoft Windows XPで、**スタート**→ **接続**→ **すべての接続の表示** とクリックします。

**メモ:** お使いのコンピュータが **クラシックスタート** メニューオプションに設定されている場合、**スタート**→ **設定**→ **ネットワーク接続** とクリックすると、ネットワーク接続が表示されます。

Microsoft Windows Vistaで、 → **Connect To**(接続)→ **View network computers and devices**(ネットワークコンピュータとデバイスの表示)とクリックします。

ワイヤレスネットワーク接続が LAN または高速インターネットに表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

ワイヤレスネットワーク接続が表示されていれば、ワイヤレスネットワークカードが取り付けられています。ワイヤレスネットワークカードの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. **Wireless Network Connection**(ワイヤレスネットワーク接続)を右クリックします。
2. **Properties**(プロパティ)をクリックします。

   **Wireless Network Connection Properties**(ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ)ウィンドウが表示されます。ワイヤレスネットワークカードの名前とモデル番号は、**General**(全般)タブにリスト表示されています。

   **メモ:** **Wireless Network Connection**(ワイヤレスネットワーク接続)が表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

### お使いのコンピュータの注文確認書

お使いのコンピュータの注文時に受け取られた注文確認書には、コンピュータに付属のハードウェアとソフトウェアが一覧表示されています。

## ワイヤレスルーターおよびブロードバンドモデムを使用した新しいワイヤレス LAN のセットアップ

1. インターネットサービスプロバイダ（ISP）に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。

2. ワイヤレスインターネット接続をセットアップする前に、ブロードバンドモデムを経由して有線でインターネットにアクセスできる状態にあることを確認してください（ネットワークまたはブロードバンドモデムケーブルの接続 を参照）。

3. お使いのワイヤレスルーターに必要ないずれかのソフトウェアをインストールします。お使いのワイヤレスルーターには、インストール用のメディアが付属している場合があります。インストールメディアには、通常、インストールとトラブルシューティングに関する情報が含まれています。ルーターの製造元が提供する手順に従って、必要なソフトウェアをインストールします。

4. Windows Vista Start（スタート）ボタン 、またはWindows XP の **スタート→ シャットダウン** で、お使いのコンピュータと周辺の他のワイヤレス通信可能なコンピュータをシャットダウンします。

5. ブロードバンドモデムの電源ケーブルをコンセントから外します。

6. ネットワークケーブルをコンピュータとモデムから外します。

7. AC アダプタケーブルをワイヤレスルーターから外し、ルーターに接続された電源がないことを確認します。

   **メモ:** ブロードバンドの接続を切断して 5 分以上待ってから、ネットワークのセットアップを続行します。

8. ネットワークケーブルを電源の入っていないブロードバンドモデムのネットワーク（RJ-45）コネクタに接続します。

9. ネットワークケーブルのもう一方の端を電源の入っていないワイヤレスルーターのインターネットネットワーク（RJ-45）コネクタに接続します。

10. モデムとワイヤレスルーターを接続しているネットワークケーブル以外に、ブロードバンドモデムにネットワークケーブルまたは USB ケーブルが接続されていないことを確認します。

    **メモ:** 接続エラーを防ぐため、以下に記載する順番でワイヤレス機器を再スタートさせます。

11. ブロードバンドモデムに<u>のみ</u>電源を入れて、ブロードバンドモデムが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、ステップ 12 に進みます。

12. ワイヤレスルーターの電源を入れ、ワイヤレスルーターが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、ステップ 13 に進みます。

13. コンピュータを起動し、起動プロセスが完了するまで待ちます。

14. ワイヤレスルーターに付属のマニュアルを参照し、次の操作を実行して、ワイヤレスルーターをセットアップします。
    - コンピュータとワイヤレスルーター間の通信を確立します。
    - ワイヤレスルーターをブロードバンドルーターと通信できるように設定します。
    - ワイヤレスルーターのブロードキャスト名を検索します。ルーターのブロードキャスト名の専門用語は、Service Set Identifier（SSID）またはネットワーク名です。

15. 必要に応じて、ワイヤレスネットワークカードを設定し、ワイヤレスネットワークに接続します（ワイヤレス LAN への接続を参照）。

## ワイヤレス LAN への接続

**メモ:** ワイヤレス LAN に接続する前に、必ずワイヤレス LANの手順に従ってください。

**メモ:** 次のネットワークへの接続手順は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたは携帯製品には適用されません。

本項では、ワイヤレステクノロジによるネットワークへの接続に関する一般的な手順について説明します。特定のネットワーク名や設定の詳細は異なります。お使いのコンピュータをワイヤレス LAN へ接続するための準備の詳細に関しては、ワイヤレス LAN を参照してください。

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するために特定のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。

**メモ:** ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーマニュアルの手順に従ってください。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプを確認してから、Dell™ サポートサイト **support.jp.dell.com** でカード名を検索します。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプに関しては、お使いのワイヤレスネットワークカードの確認を参照してください。

コンピュータの電源を入れると、コンピュータが設定されている地域以外でネットワークが検出された場合、その都度タスクトレイ（Windows デスクトップの右下隅）にあるネットワークアイコンからポップアップが表示されます。

ネットワークへの接続は、次の手順を実行します。

1. **Start**（スタート） をクリックし、**Network**（ネットワーク）をクリックします。

2. ネットワークフォルダ上部のナビゲーションバーにある **Network and Sharing**（ネットワークと共有）をクリックします。

3. **Tasks**（タスク）で、**Connect to a network**（ネットワークの接続）をクリックします。

4. 一覧からお使いのネットワークを選択して、**Connect**（接続）をクリックします。

コンピュータをワイヤレスネットワークに設定すると、別のポップアップが表示されて、そのネットワークに接続していることを通知します。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内でコンピュータにログオンすると、同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。

**メモ:** セキュアネットワークを選択した場合、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。

**メモ:** コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

## ワイヤレスネットワークデバイスマネージャの確認

お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって、ネットワークデバイスを管理するワイヤレス設定ユーティリティが異なる場合があります。

- ワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティ
- Windows XP または Windows Vista オペレーティングシステム

Windows XP で、ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート**→ **設定**→ **コントロールパネル**→ **ネットワーク接続** とクリックします。
2. **ワイヤレスネットワーク接続** アイコンを右クリックして、**利用できるワイヤレスネットワークの表示** をクリックします。

**ワイヤレスネットワークの選択** ウィンドウで **Windows ではこの接続を設定できません** というメッセージが表示されたら、ワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

**ワイヤレスネットワークの選択** ウィンドウで **以下のリストのアイテムをクリックして、範囲内にあるワイヤレスネットワークに接続するか、詳細情報を取得します** というメッセージが表示されたら、Windows XP オペレーティングシステムがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

Windows Vista で、ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します。

1. → **Connect To**（接続）→ **Manage wireless networks**（ワイヤレスネットワークの管理）とクリックします。
2. プロファイルをダブルクリックしてワイヤレスネットワーク画面を開きます。

お使いのコンピュータにインストールされているワイヤレス設定ユーティリティの詳細については、Windows ヘルプとサポートセンター（Microsoft Windows XP および Windows Vista ヘルプとサポートセンターを参照）でお使いのワイヤレスネットワークのマニュアルを参照してください。

## ワイヤレス LAN への接続の完了

コンピュータの電源投入時にその周辺で（お使いのコンピュータが設定されていない）ネットワークが検出されると、タスクトレイ（Windows デスクトップの右下隅）にあるネットワークアイコン付近にポップアップが表示されます。

画面に表示されるユーティリティのプロンプトの手順に従ってください。

選択したワイヤレスネットワークをコンピュータに設定すると、もう一度ポップアップが表示され、コンピュータがそのネットワークに接続されたことが通知されます。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内でコンピュータにログオンすると、同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。

**メモ:** セキュアネットワークを選択した場合、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。

**メモ:** コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

## Dell QuickSet を使用したワイヤレスネットワークカードのステータスのモニタ

ワイヤレスアクティビティインジケータを使用すると、お使いのコンピュータのワイヤレスデバイスのステータスを簡単にモニタできます。ワイヤレスアクティビティインジケータをオンまたはオフにするには、で QuickSet アイコンをクリックし、**Hotkey Popups**（ホットキーポップアップ）を選択します。**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータオフ）が選択されていない場合、インジケータはオンです。**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータオフ）が選択されている場合、インジケータはオフです。

ワイヤレスアクティビティインジケータには、お使いのコンピュータに搭載のワイヤレスデバイスが有効または無効のどちらの状態になっているかが表示されます。ワイヤレスネットワーク機能をオンまたはオフにすると、ワイヤレスアクティビティインジケータが変化してステータスを表示します。

Dell QuickSet ワイヤレスアクティビティインジケータの詳細に関しては、タスクバーの QuickSet アイコンを右クリックして、次に **Help**（ヘルプ）を選択します。

---

# モバイルブロードバンド（またはワイヤレスワイドエリアネットワーク）

モバイルブロードバンドネットワークは、ワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）とも呼ばれる高速デジタルセルラーネットワークで、一般に 100 から 1000 フィートまでの距離をカバーするワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）よりもはるかに広い地理的範囲にインターネットへのアクセスを提供します。お使いのコンピュータは、携帯電話データのサービスエリア内にある限り、モバイルブロードバンドネットワークへのアクセスを維持できます。高速デジタルセルラーネットワークのサービスエリアについては、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。

**メモ:** ある場所で、お使いの携帯電話から電話をかけることができても、その場所が必ずしもセルラーデータのサービスエリアであるとは限りません。

## モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定に必要なもの

**メモ:** お使いのコンピュータによって、モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカードのいずれかを使用してモバイルブロードバンドネットワーク接続を設定できます。ただし、両方のカードは使用できません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続をセットアップするには、次のものが必要です。

- モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカード（お使いのコンピュータの構成による）

  **メモ:** ExpressCard の使用手順に関しては、ExpressCardを参照してください。

- 有効なモバイルブロードバンド ExpressCard またはご利用のサービスプロバイダで有効になっている SIM カード
- Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティ（コンピュータの購入時にカードを購入された場合は、すでにインストール済みです。コンピュータとは別に購入された場合は、カードに付属するメディアに収録されています）

  コンピュータのユーティリティが壊れていたり、削除されている場合には、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） をクリックし、次に **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）の Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイド、またはコンピュータとは別にカードを購入された場合は、お使いのカードに付属しているメディアを参照してください。

## Dell モバイルブロードバンドカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータの構成を確認するには、次のいずれかを確認します。

- お使いのコンピュータの注文確認書
- Microsoft Windows ヘルプとサポート

Windows ヘルプとサポートでのモバイルブロードバンドカードの確認

1. **Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）→ **Use Tools to view your computer information and diagnose problems**（ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する）をクリックします。
2. **Tools**（ツール）で、**My Computer Information**（マイコンピュータの情報）→ **Find information about the hardware installed on this computer**（コンピュータにインストールされているハードウェアに関する情報を検索する）をクリックします。

**My Computer Information - Hardware**（マイコンピュータの情報 - ハードウェア）画面に、お使いのコンピュータに取り付けられたモバイルブロードバンドカードのタイプとその他のハードウェアコンポーネントが表示されます。

**メモ:** モバイルブロードバンドカードのリストは、**Modems**（モデム）の下に表示されます。

## モバイルブロードバンドネットワークへの接続

**メモ:** 以下の手順は、モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカードのみに適用されます。その他のワイヤレステクノロジ内蔵カードには適用されません。

**メモ:** インターネットに接続する前に、お使いのセルラーサービスプロバイダを介してモバイルブロードバンドサービスを有効にする必要があります。Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティの使い方に関する手順と追加情報は、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） 、**Help and Support**（ヘルプとサポート）の順にクリック）でユーザーズガイドを参照してください。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** でも入手できます。また、モバイルブロードバンドカードをコンピュータとは別に購入した場合には、カードに付属のメディアにも収録されています。

Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを使用して、モバイルブロードバンドネットワークを介したインターネットへの接続を設定および管理するには、次の手順を実行します。

1. ユーティリティを起動させるには、Windows タスクトレイにある Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのアイコン をクリックします。
2. **Connect**（接続）をクリックします。

   **メモ:** **Connect**（接続）ボタンが **Disconnect**（切断）ボタンに変わります。

3. 画面の手順に従って、ユーティリティでネットワーク接続を管理します。

   または

1. **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Dell Wireless**（デルワイヤレス）をクリックします。
2. **Dell Wireless Broadband**（デルワイヤレスブロードバンド）をクリックして、画面に表示される指示に従います。

## Dell モバイルブロードバンドカードの有効化および無効化

**メモ:** モバイルブロードバンドネットワークに接続できない場合は、モバイルブロードバンド接続の設定（モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定に必要なものを参照）に必要なすべてのコンポーネントが揃っていることを確認してから、ワイヤレススイッチの設定を確認してモバイルブロードバンドカードが有効になっていることを確認してください。

モバイルブロードバンドカードは、お使いのコンピュータのワイヤレススイッチを使って有効または無効にできます。

お使いのコンピュータのワイヤレスデバイスは、コンピュータ右側面（右側面図を参照）にあるワイヤレススイッチを使ってオンまたはオフにできます。

スイッチが**オン**の位置にある場合は、**オフ**の位置へ動かして、スイッチとモバイルブロードバンドカードを無効にします。スイッチが**オフ**の場合はスイッチを**オン**にして、スイッチと Dell モバイルブロードバンドカードを有効にします。

ワイヤレスデバイスのステータスをモニタする方法については、Dell QuickSet を使用したワイヤレスネットワークカードのステータスのモニタを参照してください。

---

## Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ

ワイヤレススイッチを使用して、WLAN カード、Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードなど、いずれかのワイヤレスデバイスを簡単にオンまたはオフにすることができます。Dell コンピュータのワイヤレススイッチは、Dell Wi-Fi Catcher ネットワークロケータを使用して、近隣の WiFi ワイヤレス LAN（WLAN）を取り込みます。

ワイヤレスネットワークを取り込むには、Wi-Fi Catcher ネットワークロケータボタンを押します。WiFi ネットワークを制御する Dell QuickSet または BIOS（セットアップユーティリティプログラム）が設定されていれば、コンピュータがオンあるいはオフの状態、またはスリープ状態であるかに関係なく機能します。

コンピュータがお手元に届いたとき、Wi-Fi Catcher ネットワークロケータは無効かつ未設定であるため、最初に Dell QuickSet を使用してスイッチを有効にし、WiFi ネットワーク接続を制御するよう設定する必要があります。Wi-Fi Catcher ネットワークロケーターの詳細および Dell QuickSet による機能の有効化に関しては、タスクトレイにある QuickSet アイコンを右クリックし、次に **ヘルプ** を選択します。

---

目次に戻る